

淀川水系河川整備計画 進捗点検結果（令和4年度）

- P 1～ 淀川本川
- P 5～ 宇治川
- P 8～ 瀬田川・野洲川
- P 13～ 桂川
- P 17～ 猪名川
- P 21～ 木津川下流
- P 24～ 木津川上流

■説明資料で取り上げた点検指標

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果	
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	淀川点野地区では河川協力団体や沿川自治体、地元住民や大学などが協同し、水中歩行体験や水生生物の観察、淀川のボート体験などを通じ、淀川の自然、歴史、文化などが学べるプログラム「淀川まるごと体験会」を開催している。(令和4年度は前日の大雨の影響により中止) また、流域全体で河川清掃を行う「淀川水系一斉美化アクション」について、アプリを使ってごみ拾いの実績を登録し、集計する「WEB淀川水系一斉美化アクション」と並行して実施した。小・中学校での防災学習や、自治会と連携したマイ・タイムライン学習などを実施。活動回数93回、5060名が参加した。 加えて、令和4年10月に、城北わんどにおいて、淀川河川事務所主催、市民団体・企業・地元住民との連携による淀川「わんどグリーン大作戦」を行った。	
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	地域団体、学校、企業等と連携し、河川清掃や外来種駆除、水辺環境の整備等の川づくりに関わる活動を行った。活動全体を通じて181団体(河川協力団体4、住民団体74、行政関係58、学校関係45)と連携を図った。	
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、令和4年度で178回(淀川本川では92回)、住民等と交流を行った。 淀川河川公園点野地区、大塚地区をはじめとして、淀川流域全体で取り組んでいる地域と連携した環境保全の取り組みが令和4年度グリーンインフラ大賞優秀賞(生態系保全部門)を受賞した。	
	4		子ども達の関わり方の促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	とりかい高等支援学校でのたい肥作り、プランターの花苗の植え付け作業等の出前授業や、むらの高等支援学校の花壇づくり等維持管理作業での職場体験学習の受入を実施している。 また、令和4年7月に中高生を対象とした水生生物の共同調査会を実施した。	
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、Twitter)で、継続的に情報発信している。	
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	令和4年5月に毛馬出張所構内の河川管理施設や魚道の見学説明会を河川レンジャーと連携して実施した。参加者からは「展示室の展示が面白かったので、もっと一般に公開してほしい」「水害からどのように守られていたかがわかり、とても良かった」等の意見をいただいた。 また、淀川大塚専門事業の現場見学会を開催し、高校生にVRやARを通して、事業の紹介やインフラDXの体験してもらった。参加者からは、「今後の進路の参考になった」、「これまで建設業に興味を抱いてなかった人からも注目を集める」等の意見をいただいた。	
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	残整備区間については、改修事業等と併せて実施。令和4年度は実績なし。	
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	令和4年度末時点で淀川河川公園内の移動式トイレは88箇所あり、更新等にあわせて車椅子利用に対応したトイレを適宜整備している。	
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	完了	平成28年度に三川合流部の交流拠点となる「さくらであい館」を背割堤地区に整備した。	
	10		洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	沿川市町の高槻市において、令和4年度に30枚を追加設置した。 これにより、大阪府域で合計99枚を設置した。
	11			関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。 なお、令和4年度は首長会議1回、行政WG1回、ブロック別会議1回、鉄道WGを1回開催し、関係機関との連携を図った。 また、協議会を通じて、流域タイムラインを作成し、令和5年度の出水期より試行運用を開始する。
	12		上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	該当なし	
13	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	進捗あり	淀川におけるイタセンバラ野生復帰の取り組みの一環としてイタセンバラを含むタナゴ類の稚魚調査を行っている。令和4年度における城北地区におけるイタセンバラ個体数の調査では80個体であった。		
14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当なし			
15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし			
16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当なし			
17			生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	地域の市民団体、大学、企業、行政で構成されている淀川水系イタセンバラ保全市民ネットワーク(イタセンネット)、国土交通省淀川河川事務所、大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センターが連携し平成25年～令和4年度の10年間でオオクチバス、ブルーギルを併せて約100,000個体、令和4年度は約13,000個体を駆除している。	
18			外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	イタセンバラの産卵母魚となっているイシガイ類を大量に捕食していることが判明している特定外来生物である哺乳類ヌートリアの防除対策を進めている。令和4年度はトラップを仕掛けて11個体の捕獲を行った。 令和4年度に調査を実施。特定外来水草であるナガエソルノゲイトウ、オオフサモ、ミズヒマワリ、オオバナミズキンバイが確認されたため、維持管理作業により駆除作業を行った。除去量は合計で89,303kgであった。	
19			良好な景観の保全・創出の取り組み	瀨田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域(山間部)宇治川～瀨田川、上流域(湛水区間)瀨田川(野洲川含む)〕	該当なし		
20			河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な是正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	淀川本川(大阪市域、守口市域、枚方市域、高槻市域)の不法耕作面積は、令和3年度から令和4年度にかけて約6千㎡前後を進捗しており、令和4年度末時点で6,432㎡である。不法保留船は12隻となっている。		
21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀨田川〕	該当なし			
22			河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	進捗あり	令和4年度に点野地区に1箇所、城北地区に2箇所のワンド整備(機能改善)を行った。 また、令和元年度～2年度に、阪神なんば線淀川橋梁架替事業に係る浚渫土を活用し、淀川汽水域の河口域において人工干潟の再生を実施し、令和3～5年度にモニタリング調査を実施しているところであり、令和4年度の調査では、これまでの河口干潟調査で確認できなかった魚類や底生動物も確認された。	
23	河川の連続性の確保	ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕	進捗あり	鶴殿地区において、環境委員の助言のもと、令和4年度に管理用通路部の切下げ整備(2,500㎡)を行った。 現在ヨシの生育段階であるため経過観察中であり、順次モニタリングを行い効果検証を行う。			
24	内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖-流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗なし	関係機関と調整しながら、必要に応じて調査を行い、検討予定。令和4年度は実績なし。			
25	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域(湛水区間)〕	進捗なし	アユの遡上の促進とコイ・フナの子孫促進を目的とした、大潮期による淀川大堰の水位管理の変動を行っているが、令和4年度は実績なし。			
26		瀨田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域(湛水区間)瀨田川(野洲川含む)〕	該当なし				

■説明資料で取り上げた点検指標

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果	
環境	27	川本来のダイナミズムの再生		琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし		
	28		流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし		
	29		河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	進捗なし	大川や神崎川、寝屋川への影響を含めた河川環境上必要な流量の検討を行う。令和4年度は実績なし。	
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。	
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし		
	32			琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし		
	33		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	伝法大橋・淀川大堰下流(十三干湯)・柴島水管橋・城北・鳥飼大橋・枚方(樟葉砂州)の6地点で水質調査を行った。水質階級は、伝法大橋・淀川大堰下流(十三干湯)・柴島水管橋がⅡ級、城北・鳥飼大橋がⅢ級であった。	
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当なし		
	35		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	該当なし		
	36			土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし		
治水・防災	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	中津地区、鶴殿地区におけるヨシ原植生モニタリング、各既存干潟及び淀川大堰周辺において鳥類・魚類・植物・底生動物、底質のモニタリング調査、淀川の各ワンドのモニタリングを行った。	
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	点野地区のワンド機能改善を図る工事において、フナやコイ、ナマズのような魚類の産卵場となるよう、ワンド工事の際、少し水位が上昇すると冠水するような氾濫原を設けた。また、城北地区のワンド機能改善を図る工事において、水際植生の繁殖抑制やヨシノボリの産卵場の確保のため、ワンドの水際(周囲)に捨て石(φ300内外)を設置した。淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。令和4年度、淀川環境委員会に諮った工事案件数は13件だった。	
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	令和4年度の10月に市民団体、企業や地元住民との連携のもと、淀川敷の清掃活動を目的とした「淀川わんどクリーン大作戦」を開催した。また、令和3年度に引き続き河川レンジャーとの連携による市民参加型のイベントとして令和4年5月と11月に「鳥飼ワンドの外来水草の除去」を行った。	
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	令和4年度に大阪市水道局が管理する中部・西部及び堀江幹線の配水管撤去工事について環境委員に現地を確認頂き、管理施設に対して、環境配慮に対する指導・助言を実施した。	
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	生物の良好な生息・生息環境に配慮し、美しい自然環境を保全、創出するための「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」を毎年開催している。整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の知見の蓄積や意識の向上を目的としている。	
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗なし	平成28年度に環境情報図を更新してから4年が経過し、河川水辺の国勢調査をはじめとする環境情報データの蓄積や淀川保全対象種リストが更新されたことから、令和2年度に新たに環境情報図を更新した。令和4年度は実績なし。	
	43		危機管理体制の構築	防災意識の啓発内容	防災意識の啓発内容	進捗あり	自治体、自治会、学校、図書館等と連携し、防災イベント、防災勉強会、出前授業等で河川レンジャーが浸水地歩行体験、マイ・タイムライン作成、ハザードマップ学習等の指導を行った。令和4年度は23回実施、2,178人が参加した。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	令和4年度に、台風接近時に、水害に強い地域づくり協議会の担当者やWEB会議で、台風による影響の可能性について、情報共有を行った。
45	ハザードマップの作成内容・フォローアップ	ハザードマップの作成内容・フォローアップ		完了	令和3年度で淀川の想定最大規模での浸水想定範囲の自治体のハザードマップの更新が終了。		
46	マイ防災マップの作成状況	マイ防災マップの作成状況		進捗あり	マイ防災マップに関する出前講座を継続的に実施 令和4年度にマイ防災マップ作成オンライン学習動画を掲載している事務所HPを更新した。		
47	地下空間の浸水被害への対応状況	地下空間の浸水被害への対応状況		進捗なし	市町村防災会議や地域防災計画更新の際に、地下空間への浸水対策に関する助言や技術的支援を行う。令和4年度は実績なし。		
48	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承		水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	2022淀川水防連絡会(水防に関する情報共有・意見交換等)を関係機関・水防事務組合と合同で実施。	
49		水防拠点整備の内容・箇所数		水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。あわせて、摂津市鳥飼地区における「河川防災ステーション整備計画」が登録され、摂津市と連携して事業を推進している。令和4年度は、河川防災ステーションへの搬入入り口となる川表坂路の整備を実施した。また、全体計画の中で、中核施設として位置づけている整備箇所について、関係市町と協議を進めている。	
50	公共施設の耐水化等の支援内容	公共施設の耐水化等の支援内容		進捗なし	自治体が管理する施設等にまるごとまちごとハザードマップ設置の支援を行い、各地域の浸水被害に対する危険度を周知しているところ。建築物の耐水化に関しては、令和4年度に実績なし。		
51	水害に強い地域づくりに向けた取組内容	水害に強い地域づくりに向けた取組内容		進捗あり	交通量の多い道路の歩道橋を塗装することで、視覚的に浸水範囲を認識しやすくする、「まるごとまちごとハザードマップ」の高度化を実施した。大阪府域では初めての実施で、摂津市で1箇所実施した。また、「まるごとまちごとハザードマップ」の実施箇所についても、高槻市で17箇所から47箇所に増加した。		
52	河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容		進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、協議会の中で淀川流域治水協議会淀川(大阪府域)分会を設置。令和4年度は水害リスクマップや特定都市河川の登録に関する情報、流域治水プロジェクトの充実に向けた取組について情報共有した。		
53	堤防強化の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗なし	残りの浸透対策については阪神なんば線淀川橋梁事業および淀川左岸線2期事業と重複整備区間のため、事業間調整を行い整備予定。		
54		堤防の強化対策の実施	堤防の強化対策の実施	進捗なし	残りの侵食対策については、今後の調査検討を踏まえ、予算状況を鑑みて整備予定。		
55		堤防天端舗装実施内容・延長	堤防天端舗装実施内容・延長	完了			

■説明資料で取り上げた点検指標

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	淀川本川では、流下能力を向上させるために平成30年度から阪神なんば線淀川橋梁の架け替えに着手した。また、令和3年8月に変更した淀川水系河川整備計画に新たな整備を位置付け推進中。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	淀川下流部の流下能力を向上させるため、阪神なんば線淀川橋梁(1箇所)の橋梁嵩上げを実施中。
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	進捗あり	大宮東地区にて、高規格堤防整備(延長:130m)を推進中。
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし	
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	該当なし	
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	進捗あり	阪神なんば線淀川橋梁(1箇所)において、橋梁の嵩上げを実施中。
	62			陸間の確実な操作のための取組	進捗あり	淀川・神崎川及び左門殿川防潮扉点検操作訓練を関係する28機関合同で毎年実施。
	63	地震対策事業の実施	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗あり	令和2年に淀川大堰、令和3年に淀川陸間、伝法陸間、阪神陸間の耐震対策が完了。また、地震時の陸上輸送の遮断に対応するための代替ルートを確認する淀川大堰開門事業に令和3年度より着手した。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	進捗なし	淀川左岸部の国道176号～JR上淀橋(JR東海道本線)の緊急道未整備区間2.2kmについては、淀川左岸線2期事業と重複整備区間のため、事業間調整を行い整備予定。
	65	地震・津波対策	津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	進捗あり	大阪府及び大阪市において、各機関のHP上で平成25年8月公表結果を公開している。なお、国土交通省では、「津波浸水想定の設定の手引き」を随時更新を行っていることから、最新の手引き等を情報提供を行う。
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	進捗あり	監視制御装置1台、観測局28台設置。(令和4年度に監視制御装置1台、観測局12台更新実施)
	67			陸間の確実な操作のための取組	進捗あり	淀川・神崎川及び左門殿川防潮扉点検操作訓練を関係する28機関合同で毎年実施。
	利水	68	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っており、令和3年度から令和4年度の間に水利権許可の実績は2件あり。
		69	環境に配慮した効率的な水利用の促進	効率的な水利用の促進	進捗あり	ダムの貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。
70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗あり	令和4年度に川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開発事業については事業を完了した。	
71		湯水への備えの強化	湯水調整の円滑化への取り組み	進捗あり	令和3年度に淀川水系湯水対応タイムラインの試行運用を開始し、湯水への対策とその時期について行動計画を作成した。令和4年度は引き続きタイムラインの試行運用を実施した。	
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	進捗あり	令和4年3月に設立した淀川舟運活性化協議会において、中間とりまとめとして2025年大阪・関西万博までの目標を定めた。また、舟運の社会実験を上流・中流・下流域で実施し、ニーズや課題を把握した。また、舟運復活に向けて、地震時の陸上輸送の遮断に対応するための代替ルートを確認する淀川大堰開門事業に令和3年度より着手した。
	73		秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	淀川本川において不法係留が見られるため、水面利用の適正化に向けて是正に取り組んでいる。(平成30年度末時点で合計31隻を確認) 令和3年度から令和4年度にかけても、引き続き不法係留船の所有者に対して是正指導を行い、大阪市域の不法係留船は12隻となっている。不法係留船の撤去により、洪水時における不法係留船流失による河川管理施設等への衝突等に伴う損傷リスクを軽減するとともに、不法占用解消、環境改善が図られた。	
	74	川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに13箇所の補修を実施した。危険箇所における注意喚起看板の設置や水難事故防止の教育等を行ったこともあり、利用者が増加するゴールデンウィークや夏休み期間において無事故であった。	
	75	「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	令和4年7月に中高生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。	
	76	川らしい利用の促進	陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	淀川本川の洪水敷利用について、運動場等審議対象として河川保全利用委員会を開催。委員からは「環境に関する取組を行っていることがわかったが、意味のあるものにしていくことが重要」などの意見をいただき、外来種への対応を施設管理者に対して管理の改善について指導・助言を実施。
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	淀川本川(大阪府域)の不法耕作面積は、令和3年度から令和3年度にかけて約6千㎡前後を推移しており、令和4年度末時点で約6千㎡である。通常巡視に加え、特別巡視による現地での口頭指導、禁止看板の設置等を実施している。
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	枚方や十三において、河川空間の利活用ニーズの高まりを受け、かわまちづくり計画の登録や制度活用に向けた議論を実施。
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	河川管理道路を活用し自転車道として占用された自治体において、周辺地域間とのネットワークが形成されている。令和4年度での整備実績はなし。
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	ゴルフやゴミの不法投棄、車両乗り入れ等の迷惑行為が行われており、巡視を含めた現地での口頭指導、禁止看板の設置等を実施している。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	令和元年度には46名が河川敷で起居していたが、これまで定期的に巡回するとともに、福祉部局とも情報交換を実施したことにより、令和4年度末には32名となっている。
82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし		
83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗あり	淀川河川敷十三エリアにおいて、令和4年8月にかわまちづくり計画が登録され、良好な水辺空間の創出を目指し、環境整備を実施。また、令和4年度より枚方地区において、かわまち支援制度を活用した周辺整備について議論を実施。	

■説明資料で取り上げた点検指標

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果
維持管理	84	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダム健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施。抽出された変状毎の2次評価結果では、令和4年度末時点で、予防保全段階42箇所、措置段階0箇所となっている。また、毛馬排水機場のポンプ設備について、計画的な整備を行っており、令和4年度に、振動やインペラハブの腐食減肉等により、健全度が低い2号ポンプの分解整備に着手した。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	該当なし	
	86	許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和4年度は橋梁、樋門等許可工作物121施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が20施設、予防保全段階が17施設あった。
	87	河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	淀川本川全体で令和3年度～令和4年度にかけて、263,583千㎡伐採した。このときの伐採箇所はすべて流水阻害対象樹木群であった。これにより、伐採区間については河道流下断面が確保できた。
	88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	淀川本川において、当面は10.0kmから三川合流点のうち、航路を確保する必要のあるところについては堆積土砂の除去対策を実施している。なお、その際、砂利採取規制計画に定める範囲内において、砂利採取を認めている。河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断面測量等モニタリングを実施。
89	ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容			進捗あり	不法投棄を発見した場合には、行為者の特定に努め、行為者への指導監督、撤去等の対応を適切に行う。ゴミ等の不法投棄は夜間や休日に行われやすいことから、行為者の特定等のため、必要に応じて夜間や休日の河川巡視等を実施する。広報によりマナーアップや自己啓発を促すとともに、河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努める。淀川河川事務所管内では、令和3年度で約650㎡、令和4年度で約680㎡のゴミを処理。	

■説明資料で取り上げた点検指標

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果	
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	宇治川流域では、学校と連携した総合学習、防災学習や、自治体、自治会などと連携した河川清掃活動を実施。さくらであい館を活動拠点として活用し、ヨシ工作や、周辺の自然観察会、探鳥会、土器探し、石探しなど多彩な活動を実施した。また、地域課題となっていたクズの繁茂に対し、野草リース作成教室などを開催し、クズ活用方法を提案した。	
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	自治体、地域団体と連携し、広報、ごみ処理、掃除道具の手配、当日の運営、安全管理等を分担して、河川清掃活動等を実施。東高瀬川のクリーンアップ活動については、令和4年度で2回実施、71名の参加があった。参加者からは「プラスチックごみが多く、無くならないので活動して良かった」「これからも参加したい」などの意見をいただいた。そのほかの活動等を含め、活動全体を通じて、53団体(河川協力団体3、住民団体23、行政関係10、学校関係17)と連携を行った。	
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、令和4年度で178回(宇治川では31回)、住民等と交流を行った。平成15年より現在まで継続して実施している京都伏見ジュニア河川レンジャーの取り組み(延べ168校、13,200名参加)が、近代土木遺産「三栢閘門」と舟運などの歴史を学び、郷土愛を育む活動として、令和4年度土木学会関西支部地域活動賞を受賞した。	
	4		子ども達の関わりへの促進	環境教育等の実施内容	進捗なし	子どもと川との関わりを促すため、小学生等を対象とした水生生物調査や出前講座を実施しているところであるが、コロナ禍等の影響もあり、令和4年度の実績なし。	
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、Twitter)で、継続的に情報発信している。	
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	地域・学校と連携し、ハザードマップの読み方や避難フローの考え方を学ぶ出前講座などについて、活動を6回実施し、364名が参加した。	
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	残整備区間については、改修事業等と併せて実施。令和4年度は実績なし。	
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	令和4年度末時点で淀川河川公園内の移動式トイレは88箇所あり、更新等にあわせて車椅子利用に対応したトイレを適宜整備している。	
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	完了	平成28年度に三川合流部の交流拠点となる「さくらであい館」を背割堤地区に整備した。	
	10		洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	沿川市町の京都市において、令和4年度に35枚を追加設置。久御山町において令和4年度に9枚を追加設置。それにより、京都府域で合計372枚を設置した。
	11			関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。なお、令和4年度は首長会議1回、行政WG1回、ブロック別会議1回、鉄道WGを1回開催し、関係機関との連携を図った。また、協議会を通じて、流域タイムラインを作成し、令和5年度の出水期より試行運用を開始する。
	12		上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	令和4年10月23日瀬田川一斉清掃、鳳凰湖船舶安全利用協議会主催の清掃活動に参加しサポートを行った。また、各種イベントでのパネル展示などにより、ダム役割(治水・水道・発電)への意識向上を図っている。
環境	13	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	該当なし			
	14		琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	進捗あり	宇治川塔の島地区において、令和2年度に実施されたナカセコカワニナの生息環境を保全するための、浅場造成工事以降の継続したモニタリング調査により、令和4年度の調査では生息環境が改善していると考えられる。このため、保全対策の効果を評価する目的で、今後もモニタリングを継続し、本種の生息環境の変化を捉えることが望ましい。	
	15		オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし			
	16		アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	進捗なし	生息環境として望ましい河川環境の再生方策を検討していく。令和4年度は実績なし。		
	17		生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗なし	令和2年度より京都府の助言の元、外来種のアルゼンチンアリの駆除対策として、宇治川右岸側の伏見地区において薬剤散布を行っている。令和4年度は実績なし。	
	18		外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗なし	京都府やほか関係機関と協同で「アルゼンチンアリ根絶協議会」を設立し、定期的に分布範囲の調査や、効率的な防除対策について検討している。令和4年度は実績なし。	
	19		良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし		
	20		河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な是正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	宇治川の令和4年度末時点の不法耕作面積は約1,400㎡となっており、減少傾向にある。		
	21		ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川〕	進捗あり	平成27年度に実施した試験施工箇所について、現時点では概ね順調に生育しており、引き続きモニタリングを継続する。また、景観確保としてどの箇所が裸地対策として有効かどうか、優先箇所の選定をおこなって行く予定。		
	22		河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	進捗なし	淀川及び木津川においてワンドやたまりの保全等を行っているが、その他河川においては、必要に応じて調査・検討を行う。	
	23		河川の連続性の確保	ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕	進捗なし	令和3年3月に宇治川大橋付近において、ヨシ原保全を目的としたヨシ焼を関係団体主催で行った。令和4年度は実績なし。	
	24		内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖-流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗なし	関係機関と調整しながら、必要に応じて調査を行い、検討予定。令和4年度は実績なし。	
	25		川本来のダイナミズムの再生	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域(湛水区間)〕	該当なし		
	26		水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし		
	27		琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし			
	28		流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	進捗なし	宇治川での総合土砂管理方策の検討結果等を含め、既設ダムにおける土砂還元等の検討を行う。	
	29		河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし		

■説明資料で取り上げた点検指標

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果
流域	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	該当なし	
	32			琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	該当なし	
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	令和4年度も宇治川 宇治橋地点で水質調査(BOD)を実施。水質調査結果の平均値は0.9mg/L、水質階級はⅡ級(ややきれいな水)であった。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	進捗あり	天ヶ瀬ダムの水質及び底質共に経年的な変化は概ね確認されておらず、引き続き水質、底質調査を実施していく。
	35			流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり
36		土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし			
流域管理に向けた継続的な施策展開	37	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	事業の実施にあたっては淀川環境委員会の助言を得ながらモニタリングを実施している。宇治川では河川工事に伴う工事後のナカセコカワニナの生息環境の把握のため物理環境調査(流速、水深等)を継続的にしている。	
	38	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。令和4年度、淀川環境委員会に諮った工事案件数は13件だった。	
	39	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	宇治川塔の島地区では、平成21年度より関係機関と連携し、景観や環境に配慮した河川改修を開始し、平成30年度に完成し、事業完成を記念した記念式典が開かれた。令和3年度には、治水と景観の一体的整備を行ったモデルとして高く評価され、近畿地方整備局が事業主体の河川整備事業において初めて、グッドデザイン賞を受賞した。	
	40	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	令和4年度に京阪電鉄が管理する宇治川橋梁の洗掘対策工事について、環境委員に現地確認頂き、「魚の棲み処になるような護岸」や「自然石の設置」など、管理施設に対して、環境配慮に対する指導・助言を実施した。	
	41	河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	生物の良好な生息・生息環境に配慮し、美しい自然環境を保全、創出するための「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」を毎年開催している。整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の知見の蓄積や意識の向上を目的としている。	
	42	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗なし	平成28年度に環境情報図を更新してから4年が経過し、河川水辺の国勢調査をはじめとする環境情報データの蓄積や淀川保全対象種リストが更新されたことから、令和2年度に新たに環境情報図を更新した。令和4年度は実績なし。	
治水・防災	43	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	防災意識の啓発内容	進捗あり	自治体、学校等と連携し、防災イベント、出前授業等で河川レンジャーが浸水地歩行体験、マイ・タイムライン作成指導等を行った。令和4年度は8回実施、458人が参加した。	
	44		自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	令和4年度に、台風接近時に、水害に強い地域づくり協議会の担当者とWEB会議で、台風による影響の可能性について、情報共有を行った。	
	45		ハザードマップの作成内容・フォローアップ	完了		
	46		マイ防災マップの作成状況	進捗あり	マイ防災マップに関する出前講座を継続的に実施。令和4年度にマイ防災マップ作成オンライン学習動画を掲載している事務所HPを更新した。	
	47		地下空間の浸水被害への対応状況	該当なし		
	48		水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	2022淀川水防連絡会(水防に関する情報共有・意見交換等)を関係機関・水防事務組合と合同で実施。	
	49		水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。全体計画の中で、中核施設として位置づけている整備箇所について、関係市町と協議を進めている。	
	50		公共施設の耐水化等の支援内容	進捗なし	自治体が管理する施設等にまるごとまちごとハザードマップ設置の支援を行い、各地域の浸水被害に対する危険度を周知しているところ。建築物の耐水化に関しては、令和4年度に実績なし。	
	51		水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	電柱に想定浸水深のラッピングをすることで、視覚的に浸水範囲を認識しやすくする、「まるごとまちごとハザードマップ」の高度化を実施した。また、「まるごとまちごとハザードマップ」の実施箇所についても、京都市(桂川と木津川と重複)で63箇所から98箇所に、久御山町(木津川と重複)で30箇所から39箇所に増加した。	
	52		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、協議会の中で淀川流域治水協議会淀川(京都府域)分会を設置。令和4年度は水害リスクマップや特定都市河川の登録に関する情報、流域治水プロジェクトの充実にに向けた取組について情報共有した。
堤防強化の実施	53	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	完了		
	54		堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	進捗なし	残りの侵食対策については、今後の調査検討を踏まえ、整備予定。令和4年度は実績なし。	
	55		堤防天端舗装実施内容・延長	完了		
川の中で洪水を安全に流下させるための対策	56	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	令和4年度に、天ヶ瀬ダム再開発事業が完成し、令和4年8月より運用開始。令和3年8月の整備計画変更により、塔の島地区の河川改修に引き続き、河道掘削等を実施する。	
	57	河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	塔の島地区河川改修が完了したことで、昭和28年台風13号洪水を目標とする流下能力を確保しており、令和3年8月の整備計画変更により、平成25年台風18号洪水を目標とする流下能力の確保に向け、河道掘削等を推進する。	
高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし			
土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし			
既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗あり	令和4年度に、天ヶ瀬ダム再開発事業が完成し、令和4年8月より運用開始。これに伴い、より大きな洪水に対して洪水調節機能を効果的に発揮することができる。また琵琶湖の水位低下のための瀬田川洗堰の操作時において、最大1,500m ³ /sの放流能力を確保できる。		

■説明資料で取り上げた点検指標

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果	
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし		
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし		
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし		各施設の耐震性能照査を実施し、要対策施設について設計を概ね完了しているところ。令和4年度は対策実施の実績なし。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし		
	65			津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし		
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし		
	67			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし		
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っており、令和3年度から令和4年度の間に水利権許可の実績は2件あり。	
	69			新規水源の確保内容	進捗あり	令和4年度に川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開発事業については事業を完了した。	
	70			安定した水利用が出来ていない地域の対策	進捗あり	令和3年度に淀川水系漏水対応タイムラインの試行運用を開始し、漏水への対策とその時期について行動計画を作成した。令和4年度は引き続きタイムラインの試行運用を実施した。	
	71	漏水への備えの強化	漏水調整の円滑化への取り組み	漏水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	令和3年度に設立した淀川舟運活性化協議会において、中間とりまとめとして2025年大阪・関西万博までの目標を定めた。また、舟運の社会実験を上流・中流・下流域で実施し、ニーズや課題を把握した。	
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	進捗あり	令和4年3月に設立した淀川舟運活性化協議会において、中間とりまとめとして2025年大阪・関西万博までの目標を定めた。また、舟運の社会実験を上流・中流・下流域で実施し、ニーズや課題を把握した。	
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗なし	現状、淀川本川での不法係留が見られるため、水面利用の適正化に向けて是正に取り組んでおり、令和3年度から令和4年度にかけても、引き続き不法係留船の所有者に対しては是正指導を行っているところ。今後、宇治川についても舟運の関係で船舶の航行などの水面利用が見込まれるため、秩序ある水面利用を促す。	
	74			川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに3箇所の補修を実施した。危険箇所における注意喚起看板の設置や水難事故防止の教育等を行ったこともあり、利用者が増加するゴールデンウィークや夏休み期間において無事故であった。
	75			「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗なし	環境学習を推進するため、小学生等を対象とした水生生物調査や出前講座を実施しているところであるが、コロナ禍等の影響もあり、令和4年度の実績なし。
	76			河川保全利用に関する取り組み内容	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	宇治川の洪水敷利用について、公園等を審議対象とし、河川保全利用委員会を開催。委員からは占用地利用の適正化について、高評価をいただき、環境啓発看板の設置・更新など施設管理者に対して施設の改善について指導・助言を実施した。
	77	憩い、安らげる河川の整備	陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	違法行為の是正内容	進捗あり	宇治川において、令和4年度の不法耕作面積は約1400㎡となっており、減少傾向にある。不法工作物に対しては、是正看板設置や現地指導を行い、行為者による撤去が行われた。また不法耕作地については、是正指導看板設置や現地指導の実施に伴い是正を行った。	
	78			水辺の整備内容	進捗あり	宇治市や八幡市、伏見区において、河川空間の利活用ニーズの高まりを受け、かわまちづくり計画の登録や制度活用に向けた議論を実施。	
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	河川管理道路を活用し自転車道として占用された自治体において、周辺地域間とのネットワークが形成されている。令和4年度での整備実績はなし。	
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	2箇所において、ドローン飛行やゴルフの迷惑行為が行われていたが、現地での口頭指導、禁止看板の設置を行い、平成31年度に解消した。	
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	宇治川では、ホームレスの人数は令和4年度で3名となっている。	
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗あり	塔の島地区では、平成21年度より付近の景観や環境に配慮した河川改修を開始し、平成28年度からは宇治公園でも上面整備を実施。令和元年度完了。令和3年度には、治水と景観の一体的整備を行ったモデルとして高く評価され、近畿地方整備局が事業主体の河川整備事業において初めて、グッドデザイン賞を受賞した。	
83	水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容			進捗あり	平成30年度よりかわまちづくり制度を活用し、ダム直下の旧発電所施設の有効活用や天ヶ瀬ダムのビュースポット整備などを宇治市と連携して実施。令和4年度より、八幡(背割堤地区)、伏見においてもかわまちづくり制度を活用した周辺整備について議論を実施。宇治においては、宇治川を軸とした天ヶ瀬ダム周辺～宇治橋周辺の回遊性向上を目標にしたかわまちづくり計画に変更するべく議論を実施。		
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	天ヶ瀬ダムにおいては、日常点検に加えて、長寿命化計画に基づき、維持修繕・更新を実施している。また、堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施。抽出された変状毎の2次評価結果では、令和4年度末時点で、予防保全段階60箇所、措置段階0箇所となっている。	
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	天ヶ瀬ダムは管理開始から58年が経過しており、令和4年度末現在で全堆砂量は516万㎡、堆砂率が約86%、計画堆砂量に対して1.5倍の早さで堆砂が進行している。H28年度～R3年度までに計約13万㎡の堆砂を除去したが、陸上掘削可能な範囲に限られており、長期間継続的に除去するためには浚渫に移行する必要がある。27ヶ年計画で既存の有効貯水容量内堆砂の約52万㎡を除去する予定で、R4年度に乾燥スペース等の作業構台設置した。	
	86			許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和4年度は橋梁、樋門等許可工作物91施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち監視段階が25施設、予防保全段階が10施設あった。
	87			河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	宇治川全体で令和3年度～令和4年度にかけて、129,407千㎡伐採した。このときの伐採箇所はすべて流水阻害対象樹木群であった。これにより、伐採区間については河道流下断面が確保できた。
	88				堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断面測量等モニタリングを実施。
89	ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	不法投棄を発見した場合には、行為者の特定に努め、行為者への指導監督、撤去等の対応を適切に行う。ゴミ等の不法投棄は夜間や休日に行われやすいことから、行為者の特定等のため、必要に応じて夜間や休日の河川巡視等を実施する。広報によりマナーアップや自己啓発を促すとともに、河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努める。淀川河川事務所管内では令和3年度で約100㎡、令和4年度で約60㎡のゴミを処理。				

瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	①河川レンジャー制度運営委員会においてとりまとめた「河川レンジャー活動の理念・あるべき姿」に基づき、一般公募により選ばれた河川レンジャーが河川清掃活動などを通じて住民と住民ならびに住民と行政との連携・協働を行う体系が確立できている。令和4年度は計20回の活動実施。河川環境意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ②瀬田川水辺協議会にて「瀬田川にゴミが多い、沿川のみんなで清掃を。」との提言のもと、平成19年度より沿川住民、河川利用者等と協力し瀬田川一斉清掃を実施しており、この地域の10月第四日曜日の恒例行事として定着している。令和4年度は約450名の参加で実施した。河川美化への意識向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	①ウォーターステーション琵琶の会と連携し、川や琵琶湖に親しむことを目的に、水辺に親しむ体験型イベント「水辺の匠」を毎年7月と12月に開催し、治水、防災や河川環境をより身近に感じてもらうことができている。令和4年度は新型コロナウイルスのため規模を縮小し「水辺の匠」を1回開催した。治水、防災及び環境教育の推進に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ②沿川住民、漁業組合等の河川利用者と協力し瀬田川クリーン作戦を実施している。令和3年度以降新型コロナウイルスの感染拡大により回数が減少しており、令和4年度は3回実施した。河川美化への意識向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	令和4年度末時点で河川レンジャーは前年度から2名増えて5名が在籍している。さらなる河川レンジャーの担い手確保に向け、令和3年度から河川レンジャー活動を補佐し、活動を学ぶ河川レンジャートライアル(候補生)の募集を開始し、令和4年度末時点で5名登録済み。河川レンジャー活動の支援を図りながら、令和4年度は20回のレンジャー活動が実施され、河川レンジャートライアルも6回・延べ13人活動に参加している。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	①③進捗なし ②④進捗あり	①平成18年度より京都府立洛北高等学校付属中学校の生徒に出前講座を行っており、参加者からは「テレビで放送されていた琵琶湖の水源地を巡る対立について今日の内容を聞いてよくわかった。」などの意見があり、河川への意識向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。なお、令和4年度はコロナ禍のため未実施。 ②令和4年度野洲川沿川市の小学校1校(立入ヶ丘小)に出前講座を行い、野洲川・瀬田川の歴史と現在の取り組みについて講座を実施した。児童からは「昔からいろんな人が頑張ってくれたおかげで今の安全な川があることが学べた。」などの意見があり、水防意識向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ③瀬田川及び野洲川で毎年、小中学生を対象とした水生生物調査を実施している。令和4年度はコロナウイルス感染防止のため中止。過去年度の参加者からは「自然環境保全への関心が高まった」と意見を得られ、環境保全意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ④野洲川河口部ヨシ帯は、立命館守山中学校の環境学習フィールドとなっており、令和4年度においても、立命館守山中学校と連携して、水生生物調査を継続して実施した。環境教育の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	①事務所ホームページで水系において関心の高い、琵琶湖水位や瀬田川洗堰放流量の日々の情報や天ヶ瀬ダム再開発事業の工事進捗状況の情報を毎月更新し掲載するとともに、事務所の取り組みに関する活動報告や記者発表の内容について、適宜、掲載し情報発信している。また、天ヶ瀬ダム再開発事業の工事に関する情報をまとめた「アマサイツーシン」についても工事完了に伴う最終号の発行を予定している。 ②事務所ホームページに『天ヶ瀬ダム再開発事業のVR(バーチャルリアリティ:バーチャル見学)動画』を公開した。(画角変更可能:YouTubeにて公開)コロナ禍の影響で、見学会が中止となっているが、画角変更可能な画像公開によって、いつでもどこでもネット環境とPCなどが有れば、『天再事業見学の疑似体験が可能』となり、天再設備に興味を持ってもらうきっかけとなった。令和3年3月に公開し、再生回数は800回を超えている。 ③琵琶湖河川事務所のYouTubeチャンネル「Biwakokasen CH」に天ヶ瀬ダム再開発事業の解説動画・タイムラプス動画を公開。令和2年5月に公開した「【実録】アマサイー放流能力補完計画 第八話「減勢池部 日本最大級の水路トンネル」」は、再生回数1100回を超えている。 ④天ヶ瀬ダム再開発事業を「魅せる！現場」として、河川への関心を高め、河川事業への理解を深めて頂くことを目的に申込みされた一般の方々の現場見学会を令和元年度14回、令和2年度2回開催している。なお、令和3年度、令和4年度はコロナ禍のため未実施。 ⑤令和2年度より毎日、事務所ツイッターで琵琶湖水位・瀬田川洗堰放流量を発信している。 ⑥河川レンジャーによる活動を広報することを目的にレンジャーレポートを作成し、令和4年度は3回のレポートを発刊した。

瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	<p>①毎年、ウォーターステーション琵琶とアクア琵琶を会場として『水辺の匠』を開催。ウォーターステーション琵琶を利用している活動団体の方々とも連携し治水、防災や河川環境などの情報発信を行っている。令和4年度はコロナ感染対策をしながら規模を縮小して開催し、約520人が来場。河川や琵琶湖への関心向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。</p> <p>②毎年3月頃に、守山市主催で『野洲川健康ファミリーマラソン大会』が開催されており、参加者(令和4年度は約720人)を対象としたパネル展示等を行い、「野洲川の歴史」「野洲川河川内樹木の繁茂抑制への取り組み」「野洲川自然再生事業の取り組み」「水防啓発」等の琵琶湖河川事務所の取り組みについて紹介している。野洲川改修の歴史と重要性について、関心向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。</p> <p>③瀬田川洗堰が建設されてから60周年を迎え、60年前の建設工事の状況を紹介することと合わせて、瀬田川洗堰の役割を琵琶湖周辺の人々に広く知っていただき、琵琶湖や河川に対する関心を高めることを目的に、パネルをアクア琵琶に展示して、琵琶湖や河川に対する関心向上に寄与した。</p> <p>④例年、6月末頃に、野洲川において守山市主催の『野洲川冒険大会』(いかだ下り大会)が開催されており、参加者及び関係者を対象にしたパネル展示やプレゼンテーション及び有志による「いかだ下り参加」を行っている。令和4年度は開催され、いかだ下り大会は雨天中止となったが、約700名が参加した。</p> <p>⑤天ヶ瀬ダム再開発事業において、令和5年3月12日に完成式典を実施した。</p> <p>⑥琵琶湖開発施設及び瀬田川洗堰操作規則改定から30周年の記念イベントとして、「琵琶湖の水へのメッセージ発表会」を、滋賀県立琵琶湖博物館で開催した。応募者数はオンラインが約370名及び会場参加が約100名であった。また、応募されたメッセージ626通の中から、治水・利水・環境のテーマ毎に各パネリストが選定した6選のメッセージでディスカッションを行い、今後の琵琶湖や流域の持続可能性について考える場となった。</p>
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	完了	
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	野洲川の堤内側に整備している植栽護岸(延長450m)において、地元自治体等との協働により、植栽の再生に向けてシバザクラの植栽活動を行った。植栽後は「中洲芝桜通り ひだまり」と銘々され、地域の方々が見える河川空間として再生されており、植栽護岸の維持管理が地元自治会にて行われている。令和4年度も、維持管理などの事業は継続されており、右岸側護岸コンクリート天端部分通路に張りコンクリートを打設し、地域の方々が見やすいよう整備を実施した。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	該当なし	
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	<p>①令和4年度に野洲川、瀬田川の多段階浸水想定図・水害リスクマップを作成・公表した。</p> <p>②アクア琵琶2階にて、野洲川の浸水想定区域についてタッチパネルで表示している。また、パネル展実施時に、パンフレットなどで広報し、防災意識の向上に寄与していることから、令和4年度も引き続き実施した。</p>
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	<p>①淀川流域治水協議会(琵琶湖分会)を令和4年度に1回開催した。</p> <p>②令和4年度に、瀬田川地域安全協議会を2回、野洲川地域安全協議会を1回開催した。</p> <p>③滋賀県域メディア連携協議会を令和4年度に1回開催した。</p> <p>④滋賀県主催の大規模氾濫減災協議会(湖北圏域、湖東圏域、東近江圏域、高島地域)に令和4年度に2回出席した。</p>
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	該当なし	
	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全		イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数[下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)]	該当なし	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容[中流域宇治川]	該当なし	
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容[上流域(盆地～源流部)木津川]	該当なし	
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数[中流域宇治川]	該当なし	
	17		生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	<p>①琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。</p> <p>②滋賀県、関係市、NPO法人、学識者、漁協等で構成される「琵琶湖外来水生植物対策協議会」にオブザーバーとして令和4年度において2回参加し情報共有、意見交換を行った。</p>
	18	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	<p>オオバナミズキンバイについて、瀬田川では繁殖の拡大が著しいため、関係機関やNPO団体等との協働による駆除活動に取り組んでいる。</p> <p>①学生ボランティア団体との協働で過年度より外来水生植物の駆除を実施してきたが、令和4年度は直轄外での活動となったため協働できなかった。外来水生植物の繁殖拡大防止に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。</p> <p>※令和4年度NPO法人国際ボランティア学生協会協会(IVUSA)県内活動実績:除去量38t・参加延べ(IVUSA 582名・関係者 129名)</p> <p>②滋賀県、大津市、NPO団体、漁業協同組合等と連携を図り、駆除、藻刈りを令和4年度は3回実施した。外来水生植物の繁殖拡大防止に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。</p>

瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果
環境	19	良好な景観の保全・創出の取り組み		瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり	野洲川の堤内側に整備している植栽護岸(延長450m)において、地元自治体等との協働により、植栽の再生に向けてシバザクラの植栽活動を行った。植栽後は「中洲芝桜通り ひだまり」と銘々され、地域の方々が憩える河川空間として再生されており、植栽護岸の維持管理が地元自治会にて行われている。令和4年度も、維持管理などの事業は継続されており、右岸側護岸コンクリート天端部分通路に張りコンクリートを打設し、地域の方々が利用しやすいよう整備を実施した。
	20			河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	不法投棄警告看板をこれまでに66箇所設置している。不法投棄ゴミについては、令和4年度6.0㎡のゴミを回収処理した。
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川〕	該当なし	
	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	該当なし	
	23			ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕	進捗あり	整備された野洲川河口部のヨシ帯について、令和元年度に波浪対策を実施。その結果、令和3年度までにヨシ帯の面積が0.2ha増加した。令和4年度調査では面積の増減はなかった。ヨシ帯再生エリアのモニタリング調査を継続して実施していく。
	24			内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	進捗なし	野洲川落差工においては関係機関との調整が図れず進捗なし(現況の夏休み期間の注意喚起を継続)
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域(湛水区間)〕	該当なし	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり	洪水期前において、降雨による水位上昇後に急激な水位低下を抑制する瀬田川洗堰の環境に配慮した試行操作を継続して実施している。
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり	琵琶湖の水位低下を抑制するため、琵琶湖からの下流水水補給において、瀬田川洗堰の放流量を1㎡/s単位で調節するきめ細やかな操作を継続して実施している。
	28			流況の平滑化に対する河川環境の改善	該当なし	
	29			河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	該当なし	
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	令和4年度は、琵琶湖、瀬田川の23地点において、月1回の頻度で水質調査を実施し、調査結果等を滋賀県、水資源機構と情報共有を図った。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり	①琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。 ②滋賀県、関係市、NPO法人、学識者、漁協等で構成される「琵琶湖外来水生植物対策協議会」にオブザーバーとして令和4年度において2回参加し情報共有、意見交換を行った。
	32			琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり	琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	河川における水質調査を瀬田川、野洲川で各1地点継続して実施し、水質監視を行っている。また、淀川水質汚濁防止連絡協議会の関係機関と情報共有を図り、令和4年度5件の水質事故に対応した。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当なし	
	35			流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	進捗なし	今後、淀川水系総合土砂管理検討委員会において大戸川からの土砂流入に関する瀬田川の総合土砂管理方策の検討を行う。
	36			土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	完了	
	37	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	①天ヶ瀬ダム再開発事業に伴い直接改変部及び下流河川において影響を受けると予測される生物及び生物の生息場所について、モニタリング調査を実施した。また、天ヶ瀬ダム再開発事業生物環境ワーキンググループの指導・助言を得て、モニタリング調査(工事中・共用前)の結果を取りまとめ、事務所HPにて公表した。天ヶ瀬ダム再開発事業は令和4年に完了したため、今後のモニタリングは淀川ダム統合管理事務所にて実施していく。 ②野洲川河口部では、横断方向の連続性やヨシ帯を回復し、かつての自然環境を取り戻す自然再生事業を実施している。事業による河川環境の変化を把握するため、ヨシ帯の再生状況や再生したヨシ帯へのコイ科魚類等の産卵状況のモニタリング調査を継続して実施している。また、河川レンジャーのコーディネートのもと、地元中学生等ともモニタリング調査を実施するなど学習フィールドとして活用されている。 ③野洲川上流部において水制工を設置し、滞筋を蛇行させ瀬・淵を再生し、礫河原の復元を図り、アユ等の生息環境やカワラハハコ等在来植物の生育環境の創出に向けた自然再生事業を進めている。段階的な施工を進めており、学識者の助言も得ながら、河床の変動予測と現地でのモニタリング結果を踏まえ、水制工の配置や形状を適宜、見直ししながら順応的に進めている。	
	38	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗なし	配慮した工事の箇所を関係値自治体と調整しきれなかったため進捗なし。	
	39	流域管理に向けた継続的な施策展開	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	①学生ボランティア団体との協働で、過年度より外来水生植物の駆除を実施してきたが、令和4年度は直轄外での活動となったため協働できなかった。外来水生植物の繁殖拡大防止に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ※令和4年度NPO法人国際ボランティア学生協会協会(IVUSA)県内活動実績:除去量38t・参加延べ(IVUSA 582名・関係者 129名) ②滋賀県、大津市、NPO団体、漁業協同組合等と連携を図り、外来水生植物駆除、藻刈りを令和4年度は3回実施した。外来水生植物の繁殖拡大防止に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ③琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。 ④淀川水質汚濁防止連絡協議会の関係機関と情報共有を図り、令和4年度5件の水質事故に対応した。

瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果		
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	令和4年度は、河川敷占用許可申請・審査の手引きの改正について河川保全利用委員会で審議した。		
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	平成24年度から人材育成として立命館守山中学校と職員で環境教育を継続して行っている。令和4年度も5月に行った。		
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。		
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	防災意識の啓発内容	進捗あり	①地域安全協議会では、令和元年度から防災教育の促進に向けて協議会とモデル校が連携し、防災教育に関する指導計画(案)等の作成を支援した。作成した指導計画(案)等は、協議会に関連する全ての市と共有し、防災意識の啓発を図り防災力の向上に取り組んでいく。 ②令和4年11月6日に、地域の方々との交流イベント(水辺の匠)の中で、しが・マイタイムラインの作成体験を滋賀県と連携し実施した。		
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	令和4年度に洪水対応演習、ホットラインによる情報伝達訓練を実施。(令和4年5月11日)		
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	進捗あり	令和4年度に、瀬田川地域安全協議会を2回、野洲川地域安全協議会を1回開催し、沿川市のハザードマップのフォローアップを実施した。		
	46			災害対応プログラムの作成内容	進捗あり	令和4年度に瀬田川及び野洲川の沿川市と、流域タイムラインを作成、有事に備えたタイムラインの共有を図った。これにより、関係機関(流域の県、市)と連携を促進する。		
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	該当なし			
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	①瀬田川・野洲川の重要水防箇所の現地共同点検を実施(令和4年4月28日)。 ②令和2年度に瀬田川・野洲川水防連絡会に加盟している団体、自治体の水防担当職員21名に対し、排水ポンプ車や照明車を利用した操作説明を実施した。参加者からは「排水ポンプ車の大きさ、排水方法が分かり支援要請時に伝えるべき現地情報の重要性を理解した。」などの意見があり、防災活動の支援向上に寄与していることから、今後も継続して取り組んでいく。 令和4年度は、関係団体との操作説明は行わなかった。 ③毎年、樋門等操作委嘱している瀬田川・野洲川地元操作員に対し、通常操作に加え緊急時操作や避難について説明および訓練を実施しており、令和4年度においても瀬田川では6月3日、野洲川では6月14日に行った。		
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	河川防災ステーションの整備に向け、関係自治体との調整を継続中。		
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	令和4年4月に滋賀県が下水道施設の耐水化計画の検討するため、瀬田川の浸水想定区域図の解析データを提供して、耐水化検討の支援を行った。		
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	瀬田川・野洲川の重要水防箇所の現地共同点検を大津市、大津市消防局、守山市、野洲市、栗東市、湖南市と実施(令和4年6月28日)。		
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	淀川流域治水協議会において令和4年度は流域治水プロジェクトの充実に向けた取組、プロジェクトの進捗状況等について情報共有した。	
	53			堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	①瀬田川では、整備計画対策必要延長1.6kmの整備が完了し、洪水に対する堤防の安全性が向上。引き続き、琵琶湖計画高水位B.S.L.+1.4m時の琵琶湖後期放流に対応する堤防強化対策の検討を進め、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。 ②野洲川では、整備計画対策必要延長5.7kmの整備が完了し、洪水に対する堤防の安全性が向上。引き続き、堤防強化実施箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。
	54					堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	該当なし	
55	堤防天端舗装実施内容・延長	完了						
56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	宇治川は、計画高水流量1,500m ³ /sに対応した河道整備済みであり、瀬田川も、琵琶湖の後期放流に対応した1500m ³ /sの河道掘削が令和3年度で完了した。鹿跳溪谷については、景観、自然環境の保全や親水性の確保などに配慮した河川整備を実施するため、有識者で構成する「瀬田川整備検討委員会」を設置し、第一回委員会を令和4年3月に開催し、第二回委員会を令和4年10月に開催した。今後、頂いた意見を参考に検討を進めていく。			
57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	令和4年度に天ヶ瀬ダム再開発事業が完了。			
58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし				
59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	完了				
60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	該当なし				
61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし				
62			陸間の確実な操作のための取組	該当なし				

瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗あり	令和4年度に野洲川の矢田樋門について耐震補強工事を完了した。	
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし		
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし		
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし		
	67			陸間の確実な操作のための取組	該当なし		
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っており、令和3年度から令和4年度の間に水利権許可の実績は2件あり。	
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダムの貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。	
	70		安定した水利用が来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗あり	令和4年度に川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開発事業については事業を完了した。	
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	令和3年度に淀川水系渇水対応タイムラインの試行運用を開始し、渇水への対策とその時期について行動計画を作成した。令和4年度は引き続きタイムラインの試行運用を実施した。	
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	進捗あり	第一疎水の観光船の、びわ湖大津港までの延伸のため、第一疎水の閘門において、通過船舶の指定の変更を行った。	
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	河川巡視や河川愛護モニターによる報告内容に基づき、ゴミの除去や利用者への注意喚起等を行っている。	
	74	川らしい利用の促進	川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに転落防止柵を設置するなど10箇所の補修を実施した。立入禁止区域としている野洲川落差工については、沿川の幼稚園・小学校等に水難事故啓発チラシを配布するとともに、夏季の特別巡視を行い、水難事故の発生防止に努めている。令和4年度においては水難事故は発生していない。	
	75			「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	①進捗あり ②進捗なし	①野洲川において、地元住民、自治体や企業等を対象として、河川清掃やEポートによる中洲探検等の親水イベントを通じた環境・防災学習を実施しており、令和4年度は約630名の方に参加いただいた。環境・防災意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ②瀬田川及び野洲川で毎年、小中学生を対象とした水生生物調査を実施している。令和4年度はコロナウイルス感染防止のため中止。過去年度の参加者からは「自然環境保全への関心が高まった」と意見を得られ、環境保全意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。
	76			陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	令和4年度は河川敷占用許可申請・審査の手引きの改正について河川保全利用委員会で審議した。
	77	憩い、安らげる河川の整備	陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	違法行為の是正内容	進捗なし	野洲川堤外民地の県管理時代からの住居等について、拡大防止に努めつつ、まずは境界確定から取り組んでいるが、令和4年度には進捗がなかった。瀬田川の県管理時代からの住居付属物の不法占用については、機会を捉えて是正指導を図るべく、状況を注視しているが、令和4年度には是正状況に進捗はなかった。	
	78			水辺の整備内容	完了		
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗あり	令和4年度に野洲川左岸7.6k付近の管理用通路の路面補修を実施。	
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	河川巡視により、令和4年度においては不法駐車等の違法行為が見受けられ、19件注意を実施した。	
	81	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	栗東市伊勢落地先にて、違法焼却ゴミ跡を確認しており、毎月状況をモニタリングしている。なお、ホームレス等は確認されていない。	
	82			歴史文化と調和した河川整備内容	進捗あり	地域協議会において平成18年度にとりまとめられた「瀬田川のあるべき姿」に基づき、維持管理について、水辺利用、景観、植生の維持を地域住民と共に協働支援している。	
83	水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容			進捗あり	地域協議会において平成18年度にとりまとめられた「瀬田川のあるべき姿」に基づき、維持管理について、水辺利用、景観、植生の維持を地域住民と共に協働支援している。また、安全利用点検に基づき野洲川堤防には転落防止策を設置した。		
維持管理	84	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	出水期前に堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領に基づいた点検・評価を毎年行い、令和4年度の点検結果では、予防保全段階として5箇所、措置段階が0箇所との点検となった。順次対応を行っていく予定。	
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	該当なし		
	86	維持管理	許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づく点検様式での点検結果の報告を設置者に依頼した。設置者自らが、毎年出水期前に点検を実施。要補修箇所が無いことを確認。令和4年度の点検結果は、172箇所の施設を点検し、要補修箇所は0箇所だった。	
	87			河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	野洲川において令和元年度～令和4年度にかけて、442.2千㎡伐採した。これによって、流下能力が向上した。また、対岸までの見通しが確保でき、河道内の状況を把握できるようになった。	
	88			河川区域等の管理	堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	放水路事業により確保した流下能力を維持するため、令和4年度に、野洲川幸津川地区において、河道内堆積土砂の除去を実施した(約3.8万㎡)。また、瀬田川太子地区において河道内堆積土砂の除去を実施した(約2.6万㎡)。順次、必要な区間の堆積土砂を撤去していくとともに、堆積状況等のモニタリングを継続していく。
	89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	警告看板設置やホームページへの掲載により、不法投棄の啓発活動を行っており、今後も引き続き、ゴミの不法投棄対策を進めていく。また、不法投棄ゴミについては、令和4年度に40㎡のゴミを回収処理した。	

桂川進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果	
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	令和5年2.3月に、住民参加による桂川流域クリーン大作戦を開催した。約1,800名が参加した。また、地域住民、学生団体と連携し、桂川の貴重種の保全活動、外来種防除、河川清掃などの活動を定期的実施した。活動回数34回、3661名が参加した。	
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	淀川河川公園大山崎地区では、繁茂する竹林の伐採作業や、ワンドでの外来種防除活動を定期的実施している。地元企業の協力のもと、伐採竹をチップ化して観察路を造成し、ヒメボタルの観察などで自然環境を体感できる場づくり等の川づくりに関する活動を行った。 参加者からは「初めて来たところでもとても面白かった。こういう場所と活動があることをもっと広く知ってもらえたらと思います」「ヒメボタル観察会に参加したい」等の意見があった。 そのほかの活動等を含め、活動全体を通じて、199団体(河川協力団体2、住民団体164、行政関係9、学校関係24)と連携を行った。	
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、令和4年度で178回(桂川では34回)、住民等と交流を行った。 平成27年から継続的に実施している京都市伏見区久我・久我の社・羽東師地域における防災活動が日本水大賞国土交通大臣賞、防災まちづくり大賞日本防火・防災協会会長賞を受賞した。また、淀川河川公園大山崎地区をはじめとして、淀川流域全体で取り組んでいる地域と連携した環境保全の取り組みが、グリーンインフラ大賞優秀賞を受賞した。	
	4		子ども達の関わりを促進	環境教育等の実施内容	進捗なし	子どもと川との関わりを促すため、小学生等を対象とした水生生物調査や出前講座を実施しているところであるが、コロナ禍等の影響もあり、令和4年度の実績なし。	
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、Twitter)で、継続的に情報発信している。	
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	嵐山左岸治水対策として整備された可動式止水壁の点検にあわせ、嵐山地区河川施設見学会を実施した。京都市担当者、淀川河川事務所職員からの説明を受けて意見交換を行い、桂川の治水対策について理解を深めていただいた。	
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	残整備区間については、改修事業等と併せて実施。令和4年度は実績なし。	
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	令和4年度末時点で淀川河川公園内の移動式トイレは88箇所あり、更新等にあわせて車椅子利用に対応したトイレを適宜整備している。	
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	完了	平成28年度に三川合流部の交流拠点となる「さくらであい館」を背割堤地区に整備した。	
	10		洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	沿川市町の京都市において、令和4年度に35枚を追加設置。それにより、京都府域で合計372枚を設置した。
	11			関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。 なお、令和4年度は首長会議1回、行政WG1回、ブロック会議1回、鉄道WGを1回開催し、関係機関との連携を図った。 また、協議会を通じて、流域タイムラインを作成し、令和5年度の出水期より試行運用を開始する。
	12			上下流の連携の構築	水源地域ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	毎年度定期的に水源地域ビジョン連絡会を開催することにより、関係機関との連携を強化している。 コロナ禍で中止となったイベント、縮小した内容はあるものの、日吉ダム(インフォギャラリー)見学者やダム下流のスプリングスひよしへの来館者は増加傾向であり、引き続き、ダム見学会等を通じて、上下流域の連携に取り組む。
多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数[下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)]	該当なし			
	14		ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容[中流域宇治川]	該当なし			
	15		オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容[上流域(盆地～源流部)木津川]	進捗なし	桂川において、緊急治水対策事業を進めるにあたり、オオサンショウウオの生息が確認されており、河川改修を進めるにあたり配慮をした整備を行う。令和4年度の実績なし。		
	16		アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数[中流域宇治川]	該当なし			
	17	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	令和4年度に調査を実施。特定外来水草であるナガエツルノゲイトウ、オオバナミズキンバイが確認されたため、維持管理作業、河川レンジャーとの連携により駆除作業を行った。		
	18	外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	「河川水辺の国勢調査」等による侵略的外来種の実態調査を継続実施しており、また関係機関や住民・住民団体と連携した駆除等の対策は、逐次調整を図りつつ取り組んでいる。これらの成果をふまえ、今後の啓発活動や自治体との調整・協議に向けた取組を展開していく。		
	19	良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容[上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	該当なし			
	20		河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	桂川においては、不法耕作は、令和元年度以降は約2.9万㎡で推移している。桂川松尾橋周辺においてはバーベキュー利用者が多く、大量のゴミが放置される事態となっており、この問題の解決に向け、松尾橋周辺環境改善協議会を設立し、チラシの配布や看板設置、巡視によりバーベキューのゴミを持ち帰ってもらうよう注意・啓発活動を実施した。		
21	ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数[上流域(山間部)宇治川～瀬田川]		該当なし				
22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数[下流域(湛水区間)]	進捗なし	淀川及び木津川においてワンドやたまりの保全等を行っているが、その他河川においては、必要に応じて調査・検討を行う。		
23		ヨシ原の保全・再生内容・面積[下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川]	該当なし				
24		内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖-流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗あり	桂川3号井堰は令和元年に右岸魚道の側壁から遡上できる改良(板堰による越流、切り欠き)を行い、令和4年度に改良完了後3年目のモニタリングを行った。結果は遡上数が大幅に増加する効果を確認した。 (令和3年(改良前)アユ遡上数3個体、令和4年(改良後3年目)アユ遡上数772個体)		

桂川進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果	
環境	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容[下流域(湛水区間)]	該当なし		
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	該当なし		
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	該当なし		
	28			流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数[上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川]	該当なし	
	29			河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし	
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。	
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	該当なし		
	32			琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	該当なし		
	33			水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	令和4年度も桂川 渡月橋地点で水質調査(BOD)を実施。水質調査結果の平均値は0.4mg/L、水質階級はⅡ級(ややきれいな水)であった。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当なし		
35	流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握			河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	該当なし		
36		土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし				
流域管理に向けた継続的な施策展開	37	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	区間A(0.6k~6.8k)区間B(6.8k~12.2k)区間C(12.2k~18.6k)の3つのセグメント区間において、瀬・淵及び重要環境モニタリング箇所を設定し、魚類、底生動物、植物相、鳥類、カヤネズミの調査を行っている。また、桂川下流の下植野地区(0.4k~2.4k)で、ヨドゼラ等の魚類やスゲ類の生息・生育環境の生物の継続したモニタリングを実施し、生息・生育状況の現況を把握し、保全対策の妥当性を確認することを目的とした。		
	38	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。令和4年度、淀川環境委員会に諮った工事案件数は13件だった。		
	39	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗なし	平成24年に京都府、京都市や学識経験者と連携のもと「桂川嵐山地区河川整備検討委員会」を設立し景観や利用に配慮した治水対策の検討整備を行っている。左岸治水対策として検討された可動式止水壁については、地元意見や委員の助言を得ながら令和3年3月に設置完了し運用を開始した。令和4年度は実績なし。		
	40	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	令和4年度に京都国道事務所が管理する国道9号西大橋の耐震補強工事について、環境委員に現地を確認頂き、「アユの遡上期である4月~5月の濁水発生を防ぐため、4月までに水際の工事が終わっているような工程にするよう。」等、管理施設に対して、環境配慮に対する指導・助言を実施した。		
	41	河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	生物の良好な生息・生息環境に配慮し、美しい自然環境を保全、創出するための「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」を毎年開催している。整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の知見の蓄積や意識の向上を目的としている。		
	42	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗なし	平成28年度に環境情報図を更新してから4年が経過し、河川水辺の国勢調査をはじめとする環境情報データの蓄積や淀川保全対象種リストが更新されたことから、令和2年度に新たに環境情報図を更新した。令和4年度は実績なし。		
危機管理体制の構築	43	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	防災意識の啓発内容	進捗あり	河川レンジャーが自治体、自治会、学校等と連携し、河川管理施設の見学や、出前授業でマイ・タイムライン作成指導を行った。令和4年度は5回実施、427人が参加した。		
	44		自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	令和4年度に、台風接近時に、水害に強い地域づくり協議会の担当者とWEB会議で、台風による影響の可能性について、情報共有を行った。		
	45		ハザードマップの作成内容・フォローアップ	完了			
	46		マイ防災マップの作成状況	進捗あり	マイ防災マップに関する出前講座を継続的に実施 令和4年度にマイ防災マップ作成オンライン学習動画を掲載している事務所HPを更新した。		
	47		地下空間の浸水被害への対応状況	進捗なし	市町村防災会議や地域防災計画更新の際に、地下空間への浸水対策に関する助言や技術的支援を行う。令和4年度は実績なし。		
	48		水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	2022淀川水防連絡会(水防に関する情報共有・意見交換等)を関係機関・水防事務組合と合同で実施。		
	49		水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。全体計画の中で、中核施設として位置づけている整備箇所について、関係市町と協議を進めている。		
	50		公共施設の耐水化等の支援内容	進捗なし	自治体が管理する施設等にまるごとまちごとハザードマップ設置の支援を行い、各地域の浸水被害に対する危険度を周知しているところ。建築物の耐水化に関しては、令和4年度に実績なし。		
	51		水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	電柱に想定浸水深のラッピングをすることで、視覚的に浸水範囲を認識しやすくする、「まるごとまちごとハザードマップ」の高度化を実施した。また、「まるごとまちごとハザードマップ」の実施箇所についても、京都市(宇治川と木津川と重複)で63箇所から98箇所に増加した。		
	52		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、協議会の中で淀川流域治水協議会淀川(京都府域)分会を設置。令和4年度は水害リスクマップや特定都市河川の登録に関する情報、流域治水プロジェクトの充実に向けた取組について情報共有した。	

桂川進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果
治水・防災	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗なし	残りの侵食対策については、今後の調査検討を踏まえ、整備予定。令和4年度は実績なし。
	堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長			進捗なし	残りの侵食対策については、今後の調査検討を踏まえ、整備予定。令和4年度は実績なし。	
	堤防天端舗装実施内容・延長			完了		
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	令和度に可動式止水壁による左岸溢水対策が完成。これにより上流の亀岡地域の霞堤嵩上げ等の整備が推進。
	57			河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	進捗あり	令和3年度に可動式止水壁による左岸溢水対策が完成したことで平成16年洪水を嵐山地区で溢れずに流すことが可能となった。引き続き、河川整備を実施することで、平成16年洪水を安全に流下させる。
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし	
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗あり	日吉ダムでは令和3年度、3回の洪水調節を行い、ダム下流河川水位の低減に貢献した。また、同年度に事前放流を実施し、利水容量に約285万m ³ の空き容量(洪水調節容量)を確保して、出水に伴うダム下流域の被害軽減に貢献した。令和4年度は、洪水調節等の実績はなし。
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし	各施設の耐震性能照査を実施し、要対策施設について設計を概ね完了しているところ。令和4年度は対策実施の実績なし。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	完了	
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
67	陸閘の確実な操作のための取組			該当なし		
利水	68	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っており、令和3年度から令和4年度の間に水利権許可の実績は2件あり。	
	69	環境に配慮した効率的な水利用の促進	効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダムの貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。
	70	安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗あり	令和4年度に川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開発事業については事業を完了した。	
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	令和3年度に淀川水系渇水対応タイムラインの試行運用を開始し、渇水への対策とその時期について行動計画を作成した。令和4年度は引き続きタイムラインの試行運用を実施した。
利用	72	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	該当なし		
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	該当なし	
	74	川らしい利用の促進	川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに6箇所の補修を実施した。危険箇所における注意喚起看板の設置や水難事故防止の教育等を行ったこともあり、利用者が増加するゴールデンウィークや夏休み期間において無事故であった。
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗なし	環境学習を推進するため、小学生等を対象とした水生生物調査や出前講座を実施しているところであるが、コロナ禍の影響もあり、令和4年度の実績なし。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	桂川の高水敷利用について、公園等を審議対象とし、河川保全利用委員会を開催。委員から「桂川運動公園について、他の占有者に良い事例と紹介してほしい」と評価をいただき、草地の刈り残しによる環境保全を意識した管理について、占有者に指導・助言を行うことができた。
	77		違法行為の是正内容	進捗あり	桂川においては、不法耕作は、令和元年度以降は約2.9万m ² で推移している。不法工作物に対しては、是正看板設置や現地指導を行い、行為者による一部撤去が行われた。	
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗なし	今後、河川空間の利活用ニーズの高まりにより地域や市町村からかわまちづくり等に対する要望等があれば、調整・連携を図る。
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	河川管理道路を活用し自転車道として占用された自治体において、周辺地域間とのネットワークが形成されている。令和4年度での整備実績はなし。
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	桂川松尾橋周辺においてはバーベキュー利用者が多く、大量のゴミが放置される事態となっており、この問題の解決に向け、松尾橋周辺環境改善協議会を設立し、チラシの配布や看板設置、巡視によりバーベキューのゴミを持ち帰ってもらうよう注意・啓発活動を実施したこともあり、ゴミの発生量は減少傾向にある。
81	ホームレス対応内容・確認数			進捗あり	桂川管内では、2名のホームレスが起居していたが、これまで定期的に巡回を実施したことにより、令和3年度に1名が退去した。	

桂川進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果	
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗あり	嵐山地区の左岸溢水対策が完成。引き続き、「一の井堰改築」「堰改築を含む派川改修」についても、検討委員会や地元連絡・検討会を開催し、学識経験者および有識者や地元からの助言等を踏まえ、景観や利用に配慮し検討を進める。	
	83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗なし	今後、河川空間の利活用ニーズの高まりにより地域や市町村からかわまちづくり等に対する要望等があれば、調整・連携を図る。	
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダム健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	令和3年度に日吉ダムにおいて、ダム施設及び貯水池が適切に維持管理され良好な状態に保持されているか等を検査するダム定期検査(3年毎)が実施され、全体的に問題のないことが確認されている。次回は、令和6年度の予定。また、堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施。抽出された変状毎の2次評価結果では、令和4年度末時点で、予防保全段階53箇所、措置段階0箇所となっている。	
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	日吉ダムは、管理開始から25年が経過しており、計画堆砂量8,000千㎡のうち、令和4年度末における堆砂量は約2,600千㎡であり、堆砂率は約33%となっている。令和4年度、ダム上流部において約3千㎡の堆砂除去を実施。	
	86			許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和4年度は橋梁、樋門等許可工作物57施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が17施設、予防保全段階が11施設あった。
	87			河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	桂川全体で令和3年度～令和4年度にかけて、50,642千㎡伐採した。このときの伐採箇所はすべて流水阻害対象樹木群であった。これにより、伐採区間については河道流下断面が確保できた。
	88				堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断面測量等モニタリングを実施。
	89				ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	不法投棄を発見した場合には、行為者の特定に努め、行為者への指導監督、撤去等の対応を適切に行う。ゴミ等の不法投棄は夜間や休日に行われやすいことから、行為者の特定等のため、必要に応じて夜間や休日の河川巡視等を実施する。広報によりマナーアップや自己啓発を促すとともに、河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努める。淀川河川事務所管内では、令和3年度で約130㎡、令和4年度で約140㎡のゴミを処理。

猪名川進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの人と川とのつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	令和4年度は、東久代運動公園(川西市)の河川敷で実施された外来植物の出前講座では参加者から、「もし外来種を見たりしたら駆除したいし、無理でもこのような形のイベントに参加したいと思います。楽しかったです。」等の意見があり、川や環境へ興味・関心を持つ機会を設けることができた。今後も引き続き外来種問題への取組みを実施していく。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	猪名川クリーン作戦は、令和4年度には、猪名川運動公園事務所前(池田市)等18地点で猪名川クリーン作戦が実施され、参加者から、「ゴミの減少の兆しが見られる」等の声が寄せられ、参加者の増加に伴い、活動に意義を見出していることがうかがえることから、こういった取り組みを継続していく。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	河川レンジャー主催の「猪名川いーな」で、猪名川の魅力を表現した「写真」と「絵画」を募集し、令和4年度にはイオンモール伊丹(伊丹市)等5施設での展示・表彰や出前講座を行い、レンジャー活動を発信している。猪名川では、河川レンジャーの活動を支援する人材を募る「協力員」の制度を設けている。令和4年度現在、河川レンジャーは5人、協力員が2人の体制となっている。今後も引き続き、河川レンジャー活動の定着化に努めるとともに、活動分野の多様化を推進していく。
	4		子ども達の関わり方の促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	猪名川流域の小・中学校からの要望に応じて、猪名川の自然環境についての出前講座等の環境教育を実施しており、令和4年度は4回実施した。子供たちに川で水生生物調査、パケット等の体験学習をしてもらうことで、「実験ができて面白かった」や「猪名川についてよく知れた」等好評であった。今後も、これらイベントによる子ども達への環境教育を実施していく。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取組	進捗あり	猪名川河川事務所ホームページによる配信の他、SNSによるInstagram(平成30年度より)、ツイッター(令和元年度より)による配信を行っている。スマートフォンの利用も含め、いつでも、どこでも、誰でも手軽に情報を入力しやすい環境づくり等の取組みを推進していく。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民、住民団体との交流内容	進捗あり	令和元年度より、有識者及び住民団体とともに利倉地区(豊中市)及び軍行橋下流(伊丹市)で現地確認を行い、ヒメボタルに配慮した伐採方法をヒアリングしている。令和元年度以降、ヒメボタルへの影響を回避するため、外来植物であるハリエンジュに対して環状剥皮による駆除を実施している。令和4年度では、有識者へのヒアリング及びモニタリングを行っており、剥皮部の癒合や再萌芽の発生が見られる個体もあるため、今後も対策を行っていく必要があるとの助言を得ている。
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	令和4年度は実績なし。改修事業に併せて必要に応じて実施していく。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	河川を安心して利用できるように、占有者にて公園施設の計画的な補修等を行っている。令和4年度は、ドラゴンランド(川西市)付近の堤防から公園へアクセスする階段を2箇所設置したことで、堤防法面を踏み荒らさず安全に利用できるようにし、安全性の向上に寄与している。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	該当なし	
洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	10	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数	進捗あり	まるとまちごとハザードマップの設置については、平成28年度に必要な箇所の全てにおいて設置が完了している。令和4年度に、川西市:31箇所、伊丹市:5箇所、尼崎市:14箇所、池田市:6箇所の合計56箇所の再設置を行っている。	
	11	関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」では、令和4年度は、新たな猪名川・藻川の大規模氾濫を前提とした減災に係る取組み方針について、他機関連携型タイムラインの作成・活用などについて参加機関と情報を共有した。また、「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」の参加機関と連携した取り組みを行うことにより、河川管理者間の地域防災力向上に向けた共通認識を深めることができた。今後も引き続き、参加機関との連携を強化し、洪水時等における円滑かつ迅速な避難確保に向けた取り組み等を実施していく。	
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	進捗あり	一庫ダム水源地域ビジョン推進協議会主催の流木ペインティング大会は、ダム湖に流入した流木を有効活用して芸術作品を創作するとともに、会場周辺のゴミを拾って美しい猪名川・知明湖の再生を目指すイベント。(令和2年～令和4年)令和3年8月1日(日)には知明湖キャンプ場にて参加者27名、令和4年7月31日(日)には一庫ダム管理所にて参加者30名にて開催。(H19年より毎年開催計16回) 一庫ダム内部見学&説明会は、能勢電鉄山下駅から一庫ダムまでのハイキングの後、ダム見学及び説明会を行うイベント。広報誌やHPによる募集を行っている。コロナ禍のため令和3、4年度は中止。(H18年より計15回開催) 流木ペインティング大会は、廃棄物となる流木を使って芸術作品を作り、利用者からも「きれいな流木はなかなか手に入らないので、普段あまり経験できない体験ができた。」など好評を得ている。今後もダム湖周辺におけるマラソン大会など関係機関と連携し、下流域の住民等とダム施設との関わりを深めるイベントとして実施していく。	
多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数	該当なし		
	14		ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容	該当なし		
	15		オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容	該当なし		
	16		アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所	該当なし		
	17	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	該当なし		
	18	外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	令和4年度は河川レンジャーを通して、東久代運動公園(川西市)の河川敷、猪名川テニスコート(伊丹市)周辺で環境学習会を実施した。環境学習会では、外来植物であるセイタカアワダチソウ、キクイモを対象に駆除活動を行った。猪名川流域の学校から協力依頼がきており、これまでの河川レンジャー活動に興味・関心が向けられ、河川環境に関する学習機会を創出できた。	
	19	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容	該当なし			
	20	良好な景観の保全・創出の取り組み	ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数	進捗なし	洪水期制限水位より上の範囲における斜面裸地対策については、陸上に露出する7月～11月の間、水位変動によって生じる裸地部分が自然植生により早期に繁茂し、樹林が広く分布することが確認されているため、現時点では、特に斜面裸地対策は行っていない。	
	21	河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	猪名川の直轄河川管理区間における不法投棄について、令和4年度は18㎡の不法投棄ゴミ等を処分した。今後も引き続き、投棄箇所での警告看板による啓発を実施するとともに、投棄が発生する前の事前の対策について、現場における取組の中で検討していく。		

猪名川進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果	
環境	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所	該当なし	礫河原再生実施箇所において、令和3年度までに、北伊丹地区(伊丹市)、桑津橋地区(伊丹市)、猪名川大橋地区(川西市)で累計面積42,900㎡の整備をしたことにより、礫河原再生事業が完了し、令和4年度にモニタリングの結果事業効果が発言しており、今後も効果発現が期待できることを確認した。	
	干潟・ヨシ原の保全・再生内容・面積			進捗あり			
	内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保			既設の堰・落差工の改良内容	完了		
	25	川本来のダイナミズムの再生	流況の平滑化に対する河川環境の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容	該当なし	一庫ダムでは、一庫ダムから猪名川本川合流点までの5km区間の一部について減水区間が生じ、魚類の生息等に必要な流量が不足する状況がみられたため、平成18年度からダム下流の流況改善を目的として弾力的管理試験を実施している。ダム下流で環境改善の指標種としているオイカワについて、土砂還元と弾力的管理試験を開始して数年が経過した平成18年度以降、年によって増減はあるものの、個体数は増え、一庫ダム下流の実験区におけるオイカワ個体数は令和3年は665匹、令和4年は519匹となっている。	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容	該当なし		
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容	該当なし		
	28			既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数	進捗あり		
	29	河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	進捗あり	平成25年から令和4年の10年間における小戸地点の流量(令和4年は暫定値)は約85%の日数で正常流量(1.4m ³ /s)を満たしている。令和4年では、約99%の日数で正常流量を満たしていることに加え、期別の取水計画に基づいて、一庫ダムより必要な水量を補給することにより、利水及び環境への深刻な影響を回避することができている。		
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗なし	毎年開催している「神崎川水質汚濁対策連絡協議会 猪名川分科会」の分科会メンバーである猪名川流域の河川管理者、自治体及び住民・住民団体等が連携し行動することにより、令和4年7月に公表された令和3年近畿地方一級河川の水質現況では、猪名川の水質改善幅が5年連続で全国第1位を記録するなど、猪名川の水質向上に大きく寄与していることから、新たな水質浄化の取り組みまでには至っていない。	
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容	該当なし		
	32			琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果	該当なし		
	33	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	猪名川の水質BODの年75%値は、令和4年の値では、銀橋から猪名川橋までの全6区間で環境基準を満たしている。猪名川流域の人々に河川愛護や水質問題に関心を持ってもらうことを目的に、令和4年には、猪名川の水質愛護セミナー(年1回、こんにやく橋(川西市)、池田床固下流(川西市)、桑津橋(伊丹市)の3箇所)、小学校への出前講座等(8回/年)を実施した。猪名川愛護セミナーのアンケート結果では、「子どもが川や生き物に興味を持ってくれた」等の意見が得られ、河川環境への知識の習得機会を設けることができた。今後もこれらのイベントを継続して実施していく。	
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	進捗あり	一庫ダム(水資源機構)では、選択取水設備、平成23年4月より浅層曝気循環設備4基、平成24年4月より深層曝気設備(浅層曝気併用型)2基を運用するとともに、ダム貯水池水質調査要領に基づき、平成29年度以降も継続して、月1回の頻度で貯水池水質のモニタリング調査を行っている。一庫ダムでは、浅層曝気循環設備及び深層曝気設備(浅層曝気併用型)の運用後、平成24年以降は景観障害となるような大規模なアオコは発生しておらず、令和2年から令和4年は、貯水池内でアオコの発生はあるものの、ダムサイトや流入端など小規模の発生に留まっている。選択取水設備の運用もあり、下流利水者からカビ臭や濾過障害等の報告もなされていない。	
	35			流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり	令和2年度の定期横断測量結果等を反映した土砂動態マップでは分派地点より上流で2.2万m ³ /年の土砂堆積傾向、同じく分派地点より下流で0.2万m ³ /年の堆積傾向となっている。一庫ダム(水資源機構)では、平成15年度から下流河川環境改善のために洪水期への移行操作期間(例年5月)にフラッシュ放流による土砂還元を実施している。一庫ダム(水資源機構)において土砂動態の実態把握のためのモニタリングとして、貯水池の堆砂調査を継続して実施。ダム完成後40年の令和4年度時点において、堆砂率は約39.4%となっている。猪名川においては、土砂動態マップ作成からの知見を活用し、今後、土砂管理において、効率的な方法を総合土砂管理委員会で議論していく。一庫ダムにおいては、今後の状況によって堆砂除去等適時検討していく。
	36	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし		
	37			河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	礫河原再生モニタリング調査では、航空写真等を含む定点写真により、礫河原再生施工箇所である北伊丹地区軍行橋(伊丹市)付近の地形変化を把握している。平成21年度及び平成24年度の工事完成後、平成25年度の大規模出水等を受けて自然裸地が拡大した。平成29年度の工事後にも、平成30年7月豪雨や令和2年7月豪雨など、平均年最大流量規模を超える出水を受けたため、自然裸地が維持されており、モニタリングについても令和4年度に完了した。	
	38			生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	ヒメボタルの生息範囲(利倉地区(豊中市)及び軍行橋下流(伊丹市))にハリエンジュ(外来植物)が分布している。ハリエンジュ(外来植物)を駆除するにあたり、ヒメボタルへの影響を回避するために環状剥皮による駆除・モニタリングを令和元年度より行っている。令和4年度では、有識者へのヒアリング及びモニタリングを行っており、剥皮部の癒合や再萌芽の発生が見られる個体もあるため、今後も対策を行っていく必要があるとの助言を得ている。
	39			関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	関係機関との連携・協働による水質一斉調査等を実施し、猪名川環境交流館前から神崎川までの区間で水質が「良い」と判定された地点の比率は平成30年度以降は85%以上の高い状態を維持しており、流域の広い範囲で良好な水質が保たれていることが確認された。住民・住民団体と連携して活動を行ったことにより、河川環境への関心を流域の住民に広めることができた。今後も引き続き、連携を強化し充実していく。
	40			河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	淀川水系猪名川及び藻川の猪名川河川事務所直轄区間において、周辺環境及び地域特性を考慮しつつ川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、公園等の占用施設の新設及び更新許可にあたって意見を述べることを目的として、平成21年度から「猪名川・藻川河川保全利用委員会」による議論を実施している。河川環境保全について、令和4年度の河川保全利用委員会において、施設管理者に対する意見が提言された。・藻川河川敷公園(尼崎市)については、植生管理の目標設定としてチガヤ群落を目標とし、セイバンモロコシ、クズ、アレチウリを適切に駆除管理されたい。・東久代公園(川西市)については、環境学習会を継続的に実施していただき、啓発看板の設置も進めていただきたい。
	41	河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	令和4年の猪名川愛護セミナーは、こんにやく橋(川西市)、池田床固下流(川西市)、桑津橋(伊丹市)の3地点で同時開催し、参加者に水生生物調査、人の感覚による水質調査、簡易水質試験(バックテスト)の体験学習を行っている。若手職員も積極的に参加し、河川環境に対する知識の習得機会を創出することができた。		
	42	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	該当なし			

猪名川進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	近年では、猪名川の河川整備が進んでいるとともに、内水氾濫が起きるような大規模災害は発生していないため、災害体験者からの災害状況の聞き取りはない。防災意識の啓発については、令和4年度では、マイ・タイムライン作成講習会や防災・減災をテーマとした出前講座等を実施しており、今後も引き続き住民の防災意識を高める啓発活動を実施していく。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	猪名川流域の5市では、猪名川の水位情報をリアルタイムに確認することができるよう、市庁舎内等に光ファイバーを利用したカメラ映像、雨量情報等を確認出来る端末を設置している。令和4年度には猪名川流域の4市において、情報伝達体制を含む地域防災計画の見直しを実施した。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	進捗あり	猪名川・藻川洪水浸水想定区域図(平成28年6月公表)をもとに、猪名川流域の5市でハザードマップを更新・公表している。令和4年度には、川西市及び尼崎市にて見直しが行われている。
	46			災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	令和4年度では、住民の避難計画「マイ・タイムライン」の普及に向け、猪名川河川事務所管内のモデル地区である尼崎市東園田町3丁目東地区を対象としたマイ・タイムライン作成講習会を、尼崎市東園田生涯学習プラザで開催し、東園田町会26名が参加した。また、猪名川河川事務所内において、ハザードマップ等を活用した防災・減災に関する出前講座を開催し、池田市上池田2丁目防災会19名が参加した。これらの取組を行うことにより、マイタイムラインの必要性が浸透してきていることを踏まえ、今後はマイタイムラインからファミリータイムラインへ移行する取組を実施していく。
	47			地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備内容	該当なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	「猪名川水防連絡会」では、毎年の出水期前に、円滑な水防活動による水害防止または軽減することを目的として、関連機関とともに現地合同点検及び連絡会議を実施している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、書面開催により実施した。また、防災訓練においても、令和4年度は尼崎市の防災総合訓練に参加し、連絡体制の確認などの取組を行っている。今後も、関連機関と連携・協働し、水防意識の向上を図っていく。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	完了	
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗なし	公共施設の耐水化については、想定最大規模の洪水により、園田出張所が浸水するリスクがあるため、庁舎の耐水化対策が必要であるが、令和4年度においては、庁舎の耐水化対策は進捗していない。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」では、令和4年度は、新たな猪名川・藻川の大規模氾濫を前提とした減災に係る取組み方針について、他機関連携型タイムラインの作成・活用などについて参加機関と情報を共有した。また、「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」の参加機関と連携した取り組みを行うことによって、河川管理者間の地域防災力向上に向けた共通認識を深めることができた。今後も引き続き、参加機関との連携を強化し、洪水時等における円滑かつ迅速な避難確保に向けた取り組み等を実施していく。
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	猪名川では、「島の内水害に強いまちづくりプロジェクト」の主な対策内容である堤防拡築を進めており、令和4年度では、尼崎市東園田地区において、約0.2kmの堤防拡築を実施した。今後も引き続き、島の内地区の水害リスクの軽減を図るため、堤防強化を進めていく。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	該当なし	
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	進捗なし	堤防天端舗装は、引き続き堤防との橋梁接続部(令和5年度以降)及び堤防拡築部で実施する予定で、令和4年度の進捗はない。
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	猪名川では、上下流バランスの観点から、下流神崎川や安威川ダムの事業進捗を踏まえ、上流兵庫県管理区間及び直轄管理区間の整備時期等について、兵庫県・大阪府と調整を図りながら事業を実施している。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	令和3年8月に変更した河川整備計画に基づき、上下流バランスに配慮しながら、戦後最大洪水である昭和35年台風16号洪水の降雨量を1.1倍とした洪水を安全に流下させる河道掘削に着手し、令和4年度では、尼崎市榎堂地区において、約1.2万㎡の河道掘削を実施した。
	58	高規格堤防の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし	
	60	既設ダム等の有効活用	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗なし	平成30年7月豪雨において異常洪水時防災操作を行ったことを受け、計画規模を上回る洪水等が想定された場合に、予め一庫ダムの貯水位を下げておく事前放流を令和元年9月1日から実施している。令和4年度の実績はなし。
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸開の確実な操作のための取組	該当なし	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗あり	猪名川では管内の樋門3基及び排水機場1基が耐震対策の対象となっており、対策については、指針の改定等の対応のための再照査及び対策設計を令和4年度から行っている。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし	
	65			津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	進捗あり	猪名川流域内の津波浸水が想定される尼崎市及び豊中市において、尼崎市が平成26年12月に、豊中市が平成27年4月にそれぞれ津波ハザードマップを公表したことにより、猪名川流域内の市町全てで津波ハザードマップが作成され、尼崎市では、令和4年度に更新を行っている。
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	完了	
	67			陸開の確実な操作のための取組	該当なし	

猪名川進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っており、令和3年度から令和4年度の間に水利権許可の実績は2件あり。
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダム貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗あり	令和4年度に川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開発事業については事業を完了した。
	71	濁水への備えの強化	濁水調整の円滑化への取り組み	濁水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	令和3年度に淀川水系濁水対応タイムラインの試行運用を開始し、濁水への対策とその時期について行動計画を作成した。令和4年度は引き続きタイムラインの試行運用を実施した。
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	該当なし	
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗なし	不法係留船は管内に1隻確認しており、所有者に対して移動を指導中であるが、現時点では、新たな進捗はない。
	74	川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容	進捗あり	令和4年度に行った河川巡視による安全利用点検の結果、利倉地区(豊中市・尼崎市)付近の親水護岸等2箇所にて補修を実施した。また猪名川では、猪名川河川レンジャーのフェイスブックで河川利用の啓発を実施した他、猪名川河川事務所ホームページ内の子ども用サイト『い〜なネットキッズ』において、「川あそびのちゅうい」を掲載し、子どもたちの川遊びにおける注意喚起を行っている。	
	75	「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用の実施内容	進捗あり	猪名川流域の小学生を対象に愛護セミナーを開催し、猪名川の水生物調査等を通じて、水質管理や河川環境の保全・再生への取り組みを行った。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和4年度はこんにやく橋(川西市)、池田床固下流(川西市)、桑津橋(伊丹市)の3箇所にて実施し、計115名の参加があった。	
	76	陸域・水陸移行帯の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取組内容	進捗あり	また、アユの産卵時期の11月頃に中園橋上流(尼崎市)付近において、一般住民を対象に産卵場を作る体験イベントを開催し、令和4年に79人の参加があった。イベントの参加者からは「子どもが川や生き物に興味を持ってくれた」等の感想を頂いた。今後も河川でしか出来ない河川環境を利用した環境学習の提供を継続的に実施していく。	
	77		違法行為の是正内容	進捗あり	猪名川直轄管理区間において、周辺環境及び地域特性を考慮しつつ、川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、公園等の占用施設の新設及び更新許可にあたって意見を述べることを目的として、平成21年度から「猪名川・淀川河川保全利用委員会」による議論を実施している。「引き続き環境学習の利用や川の自然に親しむ機会を増やしていきたい。」という猪名川第1・第2運動公園(伊丹市)についての提言に対し、令和4年度には、河川敷の利用者の方々に猪名川河川敷の自然環境などへの関心を高めてもらうこと、河川敷に広く繁茂する外来植物の駆除を目的とした外来種駆除体験会を実施した。今後は、環境学習の利用や川の自然を楽しむ機会づくりとして、体験会の開催企画、準備等を関係団体や、河川レンジャーと調整を図り、環境学習に取り組んでいく。	
	78			違法行為の是正内容	進捗あり	不法工作物設置に対しては、従来より禁止警告看板の設置や是正指導を行っている。河川区域等における河川巡視の結果、令和4年度では、加茂井堰(池田市)から神崎川合流部付近において、不法投棄や不法占拠等を含む違法行為が認められたことから、今後も引き続き禁止警告看板の設置や継続的な指導を実施していく。
	79			水辺の整備内容	該当なし	
	80	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	ゴミの持ち帰り、火気使用やゴルフ練習等の禁止など、利用上のルールを定め看板で明示している。従来から多く見られたゴルフによる迷惑行為は、令和4年度は2件減少しているものの、迷惑行為は継続していることから、猪名川河川敷グラウンド(尼崎市)付近等でマナーを呼びかける看板の設置や口頭指導を行っており、今後も引き続き、迷惑行為防止に努めていく。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	管内のホームレスの個別訪問を月1回以上実施し、更に、自治体福祉部局と連携して個別訪問を実施している。令和4年度現在、名神高速猪名川橋上流(伊丹市)、善法寺歩道橋下(尼崎市)で各1人のホームレスが河川敷にて起居していることを確認している。平成29年度より確認数は2名となっており、平成14年度及び平成19年度からの起居者である。今後も引き続き自治体福祉部局と連携し、退去指導を行っていく。
82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし		
83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	該当なし		
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	令和4年度は、出水期前に堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領に基づいた点検と評価を実施し、令和4年度の点検結果では、予防保全段階が37箇所、措置段階が2箇所となっている。措置段階となっている2箇所は、令和4年度に1箇所対応済みであり、残り1箇所も令和5年度に対応予定である。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	堤防等の河川管理施設は定期点検時や河川巡視時に状態を把握し、優先度を踏まえて順次補修等を行っている。今後もアセットマネジメントの視点に立って、適切な河川管理施設の機能維持のための巡視、点検・評価、補修を実施していく。
	86		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	一庫ダム(水資源機構)は完成後40年が経過しており、計画堆砂量2,500千㎡のうち、令和4年度末で堆砂量は約985千㎡、堆砂率は約39.4%であり、堆砂量や堆砂の進行速度は概ね計画通りである。平成30年度の堆砂量の増加要因は、7月豪雨による影響が大きいと推測する。平成15年度から測定方法をマルチビームに変更して、測量精度の向上を図っており、平成29年度以降も継続して実施している。今後も堆砂量の継続的な監視を行うとともに、今後の状況によって、堆砂除去等を適宜検討していく。
	87		河道内樹木の伐採の実施状況	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づく点検様式での点検結果の報告を設置者に依頼した。設置者自らが、毎年出水期前に点検を行い、その結果は河川管理者に報告された。点検数は、令和4年度に144件で、要補修箇所はなかった。
	88		河川区域等の管理	堆積土砂の除去の実施内容	進捗なし	令和4年度は、川の流れを阻害するものや、河川管理上の支障になる樹木について、河川環境に配慮しながら、東園田地区(尼崎市)では11箇所約9万㎡の樹木伐採を実施した。伐採した樹木の幹については、一般の方に配布することで、コスト削減を図っている。一般の方には、ホームページ、インスタグラム等にて、無料配布を呼びかけ14回無料配布を実施した。
89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	近年では、河道断面の維持管理の観点から、定期的又は出水後の定期縦横断面測量結果をもとに、堆積土砂の状況を確認したところ、河道断面に著しい悪影響を及ぼす堆積箇所が見られないことから、堆積土砂の除去は実施していない。	
					進捗あり	猪名川の直轄河川管理区間におけるゴミの不法投棄については、事務所ホームページ上で不法投棄禁止の啓発を行うとともに、投棄箇所に警告のため看板設置や、ホームレスの出すゴミやバーベキュー利用によるゴミに対して指導を実施した。令和4年度は18㎡の不法投棄ゴミ等を処分した。今後も引き続き、投棄箇所での警告看板による啓発を実施するとともに、投棄が発生する前の事前の対策について、現場における取組の中で検討していく。

木津川下流進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	令和4年度に、「木津川クリーン大作戦(木津川出張所管内河川レンジャー主催)」を実施した。参加者は594人であった。木津川流域では、水辺に親しみやすい木津川の環境を活かした自然体験活動(木津川川ガキ団等)や、過去の災害をふまえ、小学4年生の授業として学習指導要領に準拠した防災講座(マイ・タイムライン学習等)、河川美化・維持管理等を目的とする淀川水系一斉美化アクションの実施など、多岐にわたる活動を実施した。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	令和4年度は、木津川管内では、淀川水系一斉美化アクションの一環として、地域団体、企業、行政と連携した「木津川流域クリーン大作戦」を実施した(549名、43団体参加)。実施予定や実施報告については地元紙で複数紹介された。そのほかの活動等を含め、活動全体を通じて、55団体(河川協力団体3、住民団体34、行政関係15、学校関係3)と連携を行った。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、令和3~4年度で253回(木津川では32回)、住民等と交流を行った。
	4		子ども達の関わりを促進	環境教育等の実施内容	進捗なし	子どもと川との関わりを促すため、小学生等を対象とした水生生物調査や出前講座を実施しているところであるが、コロナ禍等の影響もあり、令和4年度の実績なし。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、Twitter)で、継続的に情報発信している。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	八幡排水機場・橋本樋門見学会や神矢樋門・救急排水ポンプ学習会など、治水防災施設の役割を理解いただく活動を実施した。(4回141名が参加)
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	残整備区間については、堤防整備等の実施と調整等のうえ整備を予定。令和4年度は実績なし。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	令和4年度末時点で淀川河川公園内の移動式トイレは88箇所あり、更新等にあわせて車椅子利用に対応したトイレを適宜整備している。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	完了	平成28年度に三川合流部の交流拠点となる「さくらであい館」を背割堤地区に整備した。
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	沿川市町の京都市において、令和4年度に35枚を追加設置。久御山町において令和4年度に9枚を追加設置。八幡市において令和4年度に1枚を追加設置。笠置町において令和4年度に2枚を追加設置。精華町において令和4年度に2枚を追加設置。それにより、京都府域で合計372枚を設置した。
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。なお、令和4年度は首長会議1回、行政WG1回、ブロック別会議1回、鉄道WGを1回開催し、関係機関との連携を図った。また、協議会を通じて、流域タイムラインを作成し、令和5年度の出水期より試行運用を開始する。
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	該当なし	
環境	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	進捗あり	木津川のタナゴ類の生息状況を把握するため、継続的にタナゴ類仔魚の確認を行っている。令和4年度は554匹のタナゴ類の仔魚が確認された。	
	14		ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当なし		
	15		オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし		
	16		アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当なし		
	17	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗なし	「伝統的河川工法が河床地形や滞筋を替える効果と河床と生息場や生物群集に及ぼす影響」退の効果検証のため、京都大学防災研究所、やましろ里山の会、京の川の恵みを活かす会、京都大学、摂南大学、河川レンジャー等により竹蛇籠、聖牛、中聖牛を木津川中流部に設置した。令和4年度は実績なし。
	18		外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗なし	平成30年度にコクチバスの産卵床調査を実施。新木津川大橋から笠置大橋にかけて合計40箇所を確認し除去した。平成30年度にアレチウリ群落の成生育状況および結実前の除草試験の可否について検討を実施。令和4年度は実績なし。
	19		良好な景観の保全・創出の取り組み	河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	平成30年度以降の不法耕作面積は約8.7万㎡であったが、令和4年度では約8.2万㎡となっている。
	20	河川の連続性の確保	ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川〕	該当なし		
	21		ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	進捗あり	木津川において土砂環境改善によるたまりの保全や堤防の補強等を目的に、伝統的河川工法である中聖牛を設置している。平成30年から令和3年にかけ、木津川中流部右岸に新たに16基の中聖牛を製作・設置した。	
	22		ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕	該当なし		
	23	内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖-流入河川の連続性の確保	内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖-流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗なし	関係機関と調整しながら、必要に応じて調査を行い、検討予定。令和4年度は実績なし。
24	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域(湛水区間)〕		該当なし			
25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし		
26		琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし			
27		既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし			
28	河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし			
29						

木津川下流進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果		
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。		
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	該当なし			
	32			琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	該当なし			
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	令和4年度も木津川 森仁大橋地点で水質調査(BOD)を実施。水質調査結果の平均値は0.8mg/L、水質階級はⅡ級(ややきれいな水)であった。		
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当なし			
	35			河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり	淀川水系総合土砂管理検討委員会で総合土砂管理方策について検討。木津川上流河川事務所や水資源機構と連携した土砂管理について計画を検討中。		
	36	流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし				
	流域管理に向けた継続的な施策展開	37	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	事業の実施にあたっては淀川環境委員会の助言を得ながらモニタリングを実施している。木津川では木津川堤防強化工事施工箇所における貴重種等の植生回復の状況を把握するためのモニタリング調査を継続的に行っている。令和4年度はオオバクサフジ、カワラサイコ、マキエハギ、オガルカヤ、メガルカヤ、ウマノズクサ、クララ、カワラナデシコ、アマノの9種の生育個体数、活着状況、開花・結実状況を把握するためのモニタリング調査を実施。		
		38	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	堤防強化工事などでは、基本的な保全対策として、施工前の堤防法面の表土を現場発生土として覆土に利用することにより、チガヤ型草地の維持・再生を図っている。淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。令和4年度、淀川環境委員会に諮った工事案件数は13件だった。(うち木津川は3件)		
		39	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗なし	平成29年度に引き続いて、平成30年度からも土砂環境改善によるたまりの保全等を目的に、河川協力団体や河川レンジャーと連携し、伝統的河川工法である中聖牛、竹蛇籠を製作、設置した。令和4年度は実績なし。		
		40	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	令和4年度に京都府山城土木事務所が管理する、府道天理加茂木津線道路改良工事の、大野バイパス工事について、環境委員に現地を確認頂き、管理施設に対して、環境配慮に対する指導・助言を実施した。		
		41	河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	生物の良好な生息・生育環境に配慮し、美しい自然環境を保全、創出するための「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」を毎年開催している。整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の知見の蓄積や意識の向上を目的としている。		
42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	「木津川堤防強化工事における植生に配慮した覆土・移植および除草に関する当面の手引き」について、令和4年度の調査内容で得られた知見をふまえ、本手引きを「令和4年度改訂版」として一部内容を更新した。			
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	防災意識の啓発内容	進捗あり	学校等と連携し、出前授業で河川レンジャーが河川管理施設の見学会等を行った。令和4年度は4回実施、141人が参加した。		
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	令和4年度に、台風接近時に、水害に強い地域づくり協議会の担当者とWEB会議で、台風による影響の可能性について、情報共有を行った。		
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	完了	令和3年度で木津川下流の想定最大規模での浸水想定範囲の自治体のハザードマップの更新が終了。		
	46			マイ防災マップの作成状況	進捗あり	マイ防災マップに関する出前講座を継続的に実施 令和4年度にマイ防災マップ作成オンライン学習動画を掲載している事務所HPを更新した。		
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	該当なし			
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	2022淀川水防連絡会(水防に関する情報共有・意見交換等)を関係機関・水防事務組合と合同で実施。		
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。全体計画の中で、中核施設として位置づけている整備箇所について、関係市町と協議を進めている。		
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗なし	自治体が管理する施設等にまるごとまちごとハザードマップ設置の支援を行い、各地域の浸水被害に対する危険度を周知しているところ。建築物の耐水化に関しては、令和4年度に実績なし。		
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	電柱に想定浸水深のラッピングをすることで、視覚的に浸水範囲を認識しやすくする、「まるごとまちごとハザードマップ」の高度化を実施した。また、「まるごとまちごとハザードマップ」の実施箇所についても、京都市(宇治川と桂川と重複)で63箇所から98箇所に、八幡市で9箇所から10箇所に、久御山町(宇治川と重複)で30箇所から39箇所に、笠置町で2箇所から4箇所に、精華町で1箇所から3箇所に増加した。		
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、協議会の中で淀川流域治水協議会淀川(京都府域)分会を設置。令和4年度は水害リスクマップや特定都市河川の登録に関する情報、流域治水プロジェクトの充実に向けた取組について情報共有した。	
	53			堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	令和4年度に1.3kmの浸透対策を実施した。残り3.3kmの浸透対策を引き続き実施する。
	54					堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	進捗なし	残りの侵食対策については、今後の調査検討を踏まえ、整備予定。令和4年度は実績なし。
55	堤防天端舗装実施内容・延長	完了						
56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗なし	桂川・宇治川の整備進捗や淀川本川の安全度を低下させないよう上下流バランスを確保しながら河道掘削等の河川改修を実施する。現在、淀川下流部の流下能力増強につながる橋梁改築を実施していることから、令和4年度での河川改修の実績なし。			
57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗なし	木津川上流部及び中流部での対策と下流部での対策を併せて実施することで、整備計画目標流量を安全に流下させることができる。現在、淀川下流部の流下能力増強につながる橋梁改築を実施していることから、令和4年度での河川改修の実績なし。			
58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし				

木津川下流進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし		
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	該当なし		
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし		
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし		
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし	各施設の耐震性能照査を実施し、要対策施設について設計を概ね完了しているところ。令和4年度は対策実施の実績なし。	
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	進捗なし	残整備区間については、今後の堤防整備等の実施と調整の上、整備予定。令和4年度は実績なし。	
	65			津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
	66				津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
67	陸閘の確実な操作のための取組				該当なし		
利水	68	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っており、令和3年度から令和4年度の間に水利権許可の実績は2件あり。		
	69	環境に配慮した効率的な水利用の促進	効率的な水利用の促進	進捗あり	ダムの貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。		
	70	安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗あり	令和4年度に川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開発事業については事業を完了した。		
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	令和3年度に淀川水系渇水対応タイムラインの試行運用を開始し、渇水への対策とその時期について行動計画を作成した。令和4年度は引き続きタイムラインの試行運用を実施した。	
利用	72	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	該当なし			
	73		秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	該当なし			
	74	川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに14箇所の補修を実施した。危険箇所における注意喚起看板の設置や水難事故防止の教育等を行ったこともあり、利用者が増加するゴールデンウィークや夏休み期間において無事故であった。		
	75	川らしい利用の促進	「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗なし	環境学習を推進するため、小学生等を対象とした水生生物調査や出前講座を実施しているところであるが、コロナ禍等の影響もあり、令和4年度の実績なし。	
	76	陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	木津川の高水敷利用について、公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催。委員からは「木津川の河川環境を考えていく場で、キャンプ利用者の高い意識を活用していけるや新しい河川敷利用を考える良い事例」などの意見をいただき、施設の改善について、施設管理者に指導・助言を行うことができた。		
	77		違法行為の是正内容	進捗あり	木津川においては、平成30年度の不法耕作面積は約8.7万㎡であったが、是正指導看板の設置や現地指導の実施に伴い是正を継続し、令和4年度では、約8.2万㎡と減少傾向となっている。不法工作物に対しては、是正看板設置や現地指導を行い、行為者による撤去が行われた。		
	78		水辺の整備内容	進捗なし	河川空間の利活用ニーズの高まりにより地域や市町村からかわまちづくり等の取組に対する要望等があれば、調整・連携を図る。		
	79	憩い、安らげる河川の整備	小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	河川管理道路を活用し自転車道として占用された自治体において、周辺地域間とのネットワークが形成されている。令和4年度での整備実績はなし。		
	80		迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	木津川において、ラジコン飛行機やゴルフ等の迷惑行為が行われており、休日巡視を含めた現地での口頭指導、啓発チラシの配布、禁止看板の設置を行っている。令和4年度のラジコン飛行機の迷惑行為対象箇所は、3箇所まで減少している。		
	81		ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	平成29年度以降1名と、人数に推移はない。引き続き定期的に巡回するとともに、福祉部局とも情報交換を実施している。		
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし			
83	水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容		進捗あり	河川改修により創出される河川空間と、地域活性化や観光振興を推進するまちづくりが一体となり、地域の新たなにぎわいを創出する空間づくりを目指すべく、「和東町木津川かわまちづくり」計画が平成31年3月8日に登録され、計画に基づく整備を実施中。令和4年度は、用地買収及び整備にあたり必要な準備工を実施。			
維持管理	84	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施。抽出された変状毎の2次評価結果では、令和4年度末時点で、予防保全段階38箇所、措置段階0箇所となっている。		
	85		ダム機能の維持内容・堆砂量	該当なし			
	86	許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和4年度は橋梁、樋門等許可工作物62施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が16施設、予防保全段階が12施設、措置段階が2施設あった。措置段階の施設については令和4年度中に補修を行った。		
	87	維持管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	木津川下流域全体で令和3年度～令和4年度にかけて、390.936千㎡伐採した。このときの伐採箇所はすべて流水阻害対象樹木群であった。これにより、伐採区間については河道流下断面が確保できた。		
	88	河川区域等の管理	堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	木津川下流域においては、水門及び樋門付近の堆積土砂の除去対策を実施している。河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断面測量等モニタリングを実施。		
89		ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	不法投棄を発見した場合には、行為者の特定に努め、行為者への指導監督、撤去等の対応を適切に行う。ゴミ等の不法投棄は夜間や休日に行われやすいことから、行為者の特定等のため、必要に応じて夜間や休日の河川巡視等を実施する。広報によりマナーアップや自己啓発を促すとともに、河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努める。淀川河川事務所管内では、令和3年度で約100㎡、令和4年度で約230㎡のゴミを処理。			

木津川上流進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果
人と川のつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	地元小学校の防災学習の授業に河川レンジャーとして参画し、上野遊水地管理センター及び遊水地において防災学習を実施した。令和4年は35人が参加。参加者からは、「遊水地のことがもっと知りたくなった。」「洪水を防げることに期待しています。」等の感想があり、子どもたちの川についての興味や遊水地への理解が深まった。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	平成30年、令和3年に伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」に参加。令和4年度は事務所主催にて忍者列車で行く上野遊水地巡り(ウォーキングイベント)を開催し、越流堤や排水門などより多くの施設を見て、歩き、遊水地の仕組みが分かるようなコースで行った。参加者は計60名(大人40名、子供20名)の皆さんに楽しんでいただき、木津川上流河川事務所や遊水地への理解が深まった。また、令和4年に名張クリーン大作戦を実施した。参加人数は5000人。住民・住民団体(NPO等)との連携として、河川愛護活動等を通じて情報共有を積極的に行った。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	木津川上流河川事務所管内では河川レンジャー3名が在籍し、木津川上流域で活動をおこなっており、令和4年度は16回、住民等と交流を行った。河川レンジャーと連携して、木津川の自然環境への関心を高めるとともに、地域ぐるみの環境教育を活性化している。 アンケート結果抜粋 ・希少になっている種の生息調査などを丁寧に進めて欲しい。 ・木津川は沢ガニが住めるぐらいキレイな川だと知った。 ・名張川にこんなに色々な種類の動物がいるとは知らなかった。
	4		子供達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	令和4年、曾爾小学校、大宇陀小学校にて出前講座を実施。毎年、海の日に、約200名の方が親子で水生生物調査に参加。子供たちへの教育の一環として、今後も継続して環境教育を実施していく。参加者からは「きれいな川でいろんな生物を捕まえることができて楽しかったです。」「水をきれいにしようと思いました」等の感想があり、河川の環境についての関心が高まった。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取組	進捗あり	令和4年度は事務所が実施するイベントや防災情報等のみならず、木津川上流域の特産物等の様々な情報をtwitterで配信を行っている。令和4年度、Twitterにて年間52回の投稿を配信。フォロワー数は1157人(令和5年3月30日現在)
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	名張かわまちづくりにおいて、まちの活性化に取り組む方々や若者層からの意見・アイデアを聴取し取り入れるため意見交換会を実施し、多くの意見が寄せられた。それらを踏まえた設計を進めている。 ミズベリングを開催したこと、名張クリーン大作戦において名張川の清掃活動を実施したこと、河川レンジャーによる木津川のいきもの展の開催などにより、住民に河川を身近に感じて頂ける関心をもってもらうための取り組みをおこなった。
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	改修事業に併せ実施していく予定。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗なし	令和4年度は、トイレ・スロープ等の設置事例なし。 名張かわまちづくりにおいて、自治体と連携しスロープやベンチ等、憩い・安らげる河川の整備を実施していく予定。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	該当なし	
	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築		10	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報の発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり
11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	令和4年度、減災対策協議会(流域治水協議会)は、第13回協議会を開催。防災士会の新規加入及び「木津川流域の流域治水プロジェクトの更なる推進について」等意見交換を行い、引き続き、関係機関との連携を図る。	
12		上下流交流の促進	水源地ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	高山ダムでは、毎年11月23日開催(令和2年以降は中止)の地域イベント「南山城村活き生き祭り」に参加し、地域に親しまれるダムとして、堤体内見学や貯水池巡視体験などを実施。 比奈知ダムライトアップ(令和4年8月13日～8月15日)や各ダムにてダム施設見学会などを実施。	
多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンパラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数	該当なし		
	14		ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容	該当なし		
	15		オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容	進捗あり	川上ダムの建設に伴い、平成28年移転開始以降、令和4年末までに565個体の移転を実施。令和3年度調査迄で、遡上ルを設置した全ての堰(11箇所)においてオオサンショウウオの遡上を確認しており、人工巢穴32箇所のうち29箇所利用を確認した。	
	16		アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数	該当なし		
	17		生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容(回数)	進捗あり	令和4年に名張川支流の留い川について、関係機関協力の元、簡易魚道作成を実施し、ナマズの遡上を確認した。
	18		外来種対策の実施	外来種対策の実施	進捗あり	令和4年コグチバスの産卵床を撤去し駆逐する作業を行った。
	19			瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容	該当なし	
	20		良好な景観の保全・創出の取り組み	河川景観を損ねている不法工作物の計画的な正やゴミの不法投棄の防止状況・対策箇所数	進捗あり	令和4年度も、ゴミが捨てられている場所や種類等の現状を分析したゴミマップを作成し、河川ゴミの削減に向け、流域住民に当事者意識を感じてもらえるよう周知・啓発に努めている。
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数	進捗なし	高山ダムの貯水池内法面侵食防止と湖岸緑化を目的に土留柵等の設置(平成21年度)。現在、水位低下後の法面裸地において、緑化がはかられている。令和4年度は実績無し。

木津川上流進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果	
環境	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数	該当なし		
	干潟・ヨシ原の保全・再生内容・面積			該当なし			
	24	内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗あり	令和4年に名張川支流の留い川について、関係機関協力の元、簡易魚道作成を実施し、ナマズの遡上を確認した。		
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容	該当なし		
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容	該当なし		
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容	該当なし		
	28			流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数	進捗あり	令和4年度までに青蓮寺ダム、比奈知ダム、室生ダムにて土砂還元を年1回実施。ダム下流では付着藻類の剥離・更新が見られ、アユの喰み跡も確認されている。また、アユやカワムツなどの魚類の個体数も増加傾向がみられる。
	29			河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし	
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討内容	進捗あり	地域の子どもたちに対して、川への関心を高めることを目的として、海の日に稲広橋で水生生物調査、バックテスト(簡易水質検査)等を実施。	
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容	該当なし		
	32			琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果	該当なし		
	33			水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	情報共有ツールとして支川を含む流域の水質汚濁状況を直感的に把握できる水質見える化マップを更新しHPへ掲載している。また、水生生物を指標として河川の水質を評価し、また、住民や子供たちの身近な環境問題への関心を高めるため、地域の方々の協力を頂きながら稲広橋にて水生生物調査を毎年(令和4年で28回目)継続的に実施している。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	進捗あり	木津川上流ダム(高山ダム、布目ダム、室生ダム、青蓮寺ダム、比奈知ダム)では水質保全対策の継続実施により、平成30年度～令和4年度において、アオコ・淡水赤潮による大規模な水質障害は発生していない。	
	35			河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり	令和4年4月、木津川上流ダム群土砂管理懇談会にて、川上ダムの代替補給容量を用いて既設ダムの水位を低下して実施する効率的な堆砂除去の基本方針を作成した。	
	36		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	進捗あり	<ul style="list-style-type: none"> ・透過型堰堤については設計検討中。 ・現在着手中の堰堤は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ○三本松砂防堰堤(不透過堰堤) ・本堤、本堤前提保護、副堰堤(流木止めを除く)まで完成 ・副堤下流、管理用道路は令和5年度着手予定 ○谷出第3砂防堰堤(不透過堰堤) ・垂直壁、水叩き、里道は令和5年度着手予定 ・残りは完成 ○谷出第4砂防堰堤(不透過堰堤) ・完成 ○谷出第6砂防堰堤(不透過堰堤) ・完成 	
	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	河川環境の保全と再生のため、技術力の保持・伝承・向上を図る取り組みとして、生物や生物の生息・生育・繁殖環境等に関する専門知識の習得に向け、令和4年度、3回目伐採から1年経過後のマダケ伐採モニタリング調査を実施した。	
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所数	進捗なし	工事を実施する箇所において、「特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針2012(三重県教育委員会・奈良県教育委員会、平成24年)」に基づき、国指定特別天然記念物のオオサンショウウオの生息状況を確認するとともに、生息が確認された際には、個体を一時的に捕獲・保護し、DNA分析によって在来種であった場合は工事の影響がない場所に移動・放流することを目的としてオオサンショウウオ保護調査を実施している。令和4年度の該当する工事はなかった。	
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗なし	関係自治体や、地元の農地保全会等と連携し、河川環境(主に魚道)の整備を行う。令和4年度は実績無し。	
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗なし	主に河川占用申請を提出している関係機関に対し、堰等の改良をはたらきかける。令和4年度は実績無し。	
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	令和4年、宇陀市立大宇陀小学校、曾爾村立曾爾小学校にて防災と川の環境について若手職員による出前講座を実施した。児童からは、「災害の怖さが分かった」「雨が降っているときに、川を見に行かない」「川にジュースや醤油を流してはいけないことが分かった」等の感想があり、防災と川の環境について理解が深まった。	
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	令和4年度に、木津川大原河原地区にて置き砂試験施工を行うため、1700m3の置き砂を完了。今後、モニタリング調査を行う。	

木津川上流進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えての被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	令和4年に名張地区を対象に自分の安全を自分で確保する方法を学び自助を高めるため「みんなで逃げよう(Mini)ワークショップを開催。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	令和4年に、台風来襲に伴う浸水被害に備えた円滑、迅速な避難や的確な水防活動の実施を目的に、水位や市町村の対応状況を共有するための「水防テレビコミュニケーション」を開催。
	45			ハザードマップ作成内容・フォローアップ	進捗あり	令和4年度、水害リスクマップ及び多段階浸水想定図を作成、HPで公開。
	46			災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	令和4年に、流域沿川自治体を対象に流域タイムラインを作成。
	47			地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備内容	該当なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	毎年、出水期を迎えるにあたり、伊賀市と国交省合同による排水ポンプ車等災害対策用機械の操作訓練を実施。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗なし	水防拠点の整備について。令和4年度は実績無し。
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗なし	公共施設の耐水化等の支援を行う。令和4年度は実績無し。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	令和4年に、流域沿川自治体を対象に流域タイムラインを作成。
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、浸食対策実施内容・延長	完了	令和3年度で木津川上流の浸透対策完了。
	54			堤防天端以下、浸食対策実施内容・延長	該当なし	
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	進捗なし	堤防整備に合わせて実施を予定している。
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗なし	上下流バランスを考慮した事業計画を、各関係機関と調整する。令和4年度は実績無し。
	57	河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	木津川上流では、服部川において河道掘削約100万㎡のうち約2万㎡を実施。名張川、宇陀川において引堤約1kmのうち約0.1kmを実施。	
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	進捗あり	令和4年度、谷出第4砂防堰堤、谷出第6砂防堰堤が完成した。三本松砂防堰堤について、現在整備中。
	60	既設ダム等の運用の検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗なし	蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダムにおいて平成30年台風12号洪水で洪水調節を行い、名張地点で1.9mの水位低減効果が確認された。布目ダムにおいて令和3年7月の前線による出水で洪水調節を行い、興ヶ原地点で0.37mの水位低減効果が確認された。令和4年度は実績無し。
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし	堤防整備、河道掘削等洪水を安全に流下させる事を優先実施しており、今後、樋門・排水機場について耐震性照査を順次実施、必要な対策を検討していく予定。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし	
	65			津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
66	津波対策事業の実施		津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし		
67	陸閘の確実な操作のための取組		該当なし			

木津川上流進捗点検結果(令和4年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和4年度進捗	点検結果
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗なし	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っている。令和4年度の水利権許可の実績は0件。
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダム貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗あり	令和4年度に川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開発事業については事業を完了した。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	令和3年度に淀川水系渇水対応タイムラインの試行運用を開始し、渇水への対策とその時期について行動計画を作成した。令和4年度は引き続きタイムラインの試行運用を実施した。
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	該当なし	
	73		秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗なし	河川利用、水面利用に向けての誘導または規制の取組を行う。令和4年度は実績無し。	
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	危険箇所と判断される箇所には、注意喚起看板の設置や水難事故防止の看板を設置して川の利用者に注意を呼びかけている。また、令和4年度も安全利用点検結果をもとに、補修を実施している。
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	河川レンジャー活動、水生生物調査、名張クリーン作戦を行った。令和4年度においても、例年と同様に河川レンジャー活動・河川レンジャー業務を通しての水生生物調査・名張クリーン大作戦(河川清掃)を実施した。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用の取り組み内容・回数	進捗なし	河川保全利用の取り組みに向けての内容。令和4年度は実績無し。
	77		違法行為の是正内容	進捗なし	違法行為の是正内容について。令和4年度は実績無し。	
	78		憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	名張かわまちづくり一体型浸水対策事業を令和元年より整備中であるが、かわまちづくりのハード整備として令和4年度に坂路の整備を行った。
	79	小径(散策路)の利便性向上の取組内容		進捗あり	昨年に引き続き、令和4年度も名張市の東奈良名張ソーリスム・マーケティングと協力し、水辺の風景や史跡、文化財を楽しむことができる自転車小径(散策路)策定のためのサイクリングコース試走会を実施した。	
	80	迷惑行為の是正内容・対策箇所数		進捗なし	憩い、安らげる河川の整備に向けた、迷惑行為の是正を行う。令和4年度は実績無し。	
	81	ホームレス対応内容・確認数		進捗なし	憩い、安らげる河川の整備に向けた、ホームレス対応を行う。令和4年度は実績無し。	
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗なし	まちづくりや地域連携の取り組みとして、歴史文化と調和した河川整備を目指す。令和4年度は施工実績無し。	
	83		水辺を活かしたまちづくりの取り組み内容	進捗あり	木津川上流では、名張川河川改修により創出される河川空間と、地域活性化や観光振興を推進するまちづくりが一体となり、地域の新たなにぎわいを創出する空間づくりを目指すべく、平成30年度に名張市の名張かわまちづくり計画が登録され、計画に基づく整備を実施している。観水護岸、桜並木、観水広場、堤内地の案内サイン等を整備し、川を活かした地域づくりを実施中。令和4年度の進捗として、まちの活性化に取り組む方々や若者層からの意見・アイデアを聴取し取り入れるため意見交換会を実施しました。	
	維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数 堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり
85		ダム機能の維持内容・堆砂量		進捗あり	高山ダム(5,776/7,600千㎡)、青蓮寺ダム(2,215/3,400千㎡)、比奈知ダム(1,234/2,400千㎡)、布目ダム(708/1,900千㎡)では、目安堆砂量に対する進行速度が1.0倍以上となっている。今後、ダムの長寿命化施策として、現在建設中の川上ダムの代替容量を用いて、各ダムの堆砂対策を順次実施していく。(現行堆砂量/計画堆砂量)	
86		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づく点検様式での点検結果の報告を設置者に依頼した。設置者自らが、毎年出水期前に点検を実施。令和4年度の点検結果は、203箇所の施設を点検し、措置段階が2施設、予防保全段階が12施設あり、補修計画が定まっていない施設については作成の指導を行った。	
87		河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	木津川大内地区において、竹の再繁茂対策の試験施工として約100㎡を伐採し、伐竹材(約4トン)がバイオマス発電施設の発電燃料として使用可能か試験的に搬出を行い、使用可能であることと、コスト削減になることを確認した。	
88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	木津川朝屋地区において、5.2千㎡の堆積土砂の除去を行った。	
89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	河川区域等における違法行為の発見堤防や護岸等の変状の発見、河川内の環境や利用に関する情報収集等を目的に河川巡視を実施している。また、啓発活動の一環として、令和4年にゴミマップを更新し啓発している。	